

取扱説明書 もくじ

はじめに 1

1章 本製品の準備 5

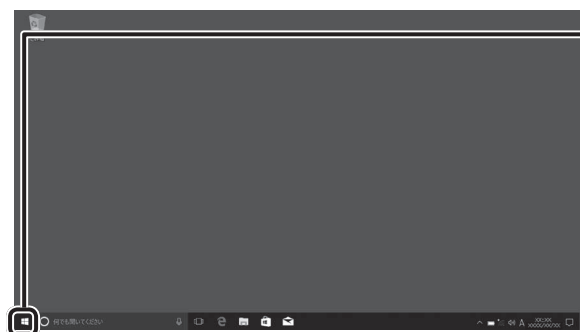
- 1 使う前に確認する 5
- 2 各部の名称 - 外観図 - 6
- 3 本製品のスタイルについて 14
- 4 ペン操作時のポインタ位置調整について 23
- 5 電源を入れる／切る 24


2章 インターネット／困ったときは 30

- 1 インターネットを使うには 30
- 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには
- ウイルス・インターネットセキュリティー 33
- 3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する 35
- 4 困ったときは - トラブルを解消するまでの流れ - 36
- 5 Q&A 集 37
- 6 本製品の調子がおかしいときは 43
- 7 本製品を初期状態に戻す - リカバリー - 44
- 8 プレインストールのアプリケーションを再インストールする 53
- 9 捨てるとき／人に譲るとき 54
- 10 アプリケーションのお問い合わせ先 58
- 11 サービス&サポートのご案内 61
- 12 ご使用にあたってのお願い 69
- リカバリーチェックシート 73

詳しい使いかたは、『オンラインマニュアル』で説明しています。

本書では、本製品に用意されている機能の一部を簡単に説明しています。より詳しい説明や、本書で説明していない機能については『オンラインマニュアル』内の『活用編』で説明しています。『オンラインマニュアル』は、次の手順で起動できます。



- ① [スタート] ボタン () をタップする
- ② [オンラインマニュアル] をタップする

(表示例)








* 画面に表示されるアプリケーションは、モデルや使用状況によって異なります。

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
本書や『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っている则便利な内容を示します。
 役立つ操作集	知っている则役に立つ操作を示します。
 参照	参照先を示します。 <ul style="list-style-type: none">● 本書内への参照の場合…「 」● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『 』

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

3 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows または Windows 10

Windows 10 Home または Windows 10 Pro を示します。

Office 搭載モデル

Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス、Office Personal Premium プラス Office 365 サービス、Office Home & Business 2016、または Office Personal 2016 のいずれかをプレインストールしているモデルを示します。

Bluetooth[®] 機能搭載モデル

Bluetooth[®] 機能を搭載しているモデルを示します。

ペン付属モデル

ペンが付属しているモデルを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名、仕様については、『****（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

4 Trademarks

本マニュアルで使用している各社の登録商標について記述します。

- Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国および／またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Internet Explorer、Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Miracast、Wi-Fi、WPA は、Wi-Fi Alliance の登録商標あるいは商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスター、ウイルスバスター クラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- デジタルアーツ／DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター／i-フィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth、Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Inc の登録商標です。
- USB Type-C™ は USB Implementers Forum の商標です。

本マニュアルに掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 お願い

- 本体のSSDにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows 標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 本体のSSDにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、次のサポート窓口に連絡してください。
 - ・ Windowsパスワードを忘れたとき： 東芝PCあんしんサポート 使いかた相談窓口
 - ・ その他のパスワードを忘れたとき： 東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口
- モデルによってはSSDにHDDパスワードを設定できますが、HDDパスワードを忘れてしまった場合は、SSDは永久に使用できなくなりますので、有料にてSSDを交換します。「その他のパスワード」の場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。またどちらの場合も、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- セキュリティロック・スロットおよび接続するセキュリティケーブルは盗難を抑止するためのものであり、万が一発生した盗難事故の被害について、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター クラウド™」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター クラウド™」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。ウイルスチェックがまったく行われなくなる状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック/セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- SSDや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化/消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。SSDや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。

- 『東芝PC保証書』は、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 お客様登録について『活用編 付録 3 お客様登録の手続き』

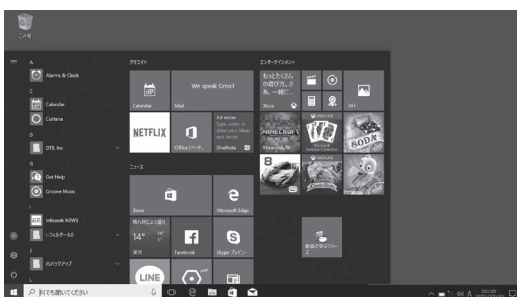
- 本書に記載しているURLのホームページを参照する際は、お使いのブラウザのワン ボックス（URL入力欄）にURLを入力して、ホームページを表示してください。

6 本書の記載について

■タブレットモード

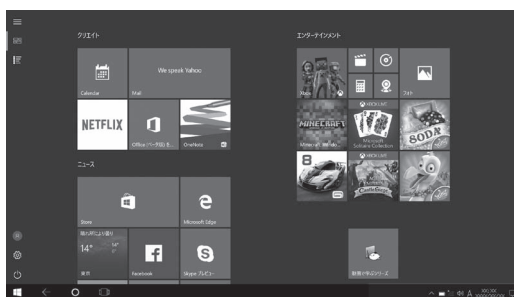
Windows 10では、「タブレットモード」がONかOFFかによって、表示される画面や操作方法が異なります。

<タブレットモードが「OFF」の場合>





(表示例)

<タブレットモードが「ON」の場合>



(表示例)

●タブレットモードのON/OFFを切り替える

- ①通知領域の  アイコンをタップする
- ② [タブレットモード] () をタップして、ON/OFFを切り替える
[タブレットモード] をタップするたびに、ON/OFFが切り替わります。
ONになると、アイコンに色が付き、アクティブな状態になります。
OFFになると、アイコンがグレー表示されます。

■本書では

- ・「タブレットモード」をOFFに設定して操作する手順を説明しています。
- ・画面に指でタッチして操作する手順を説明しています。
- ・デジタイザーペン付属モデルの場合、一部、デジタイザーペンでのタッチ操作が、指でのタッチ操作と異なります。

2

各部の名称 - 外観図 -

1章

本製品の準備

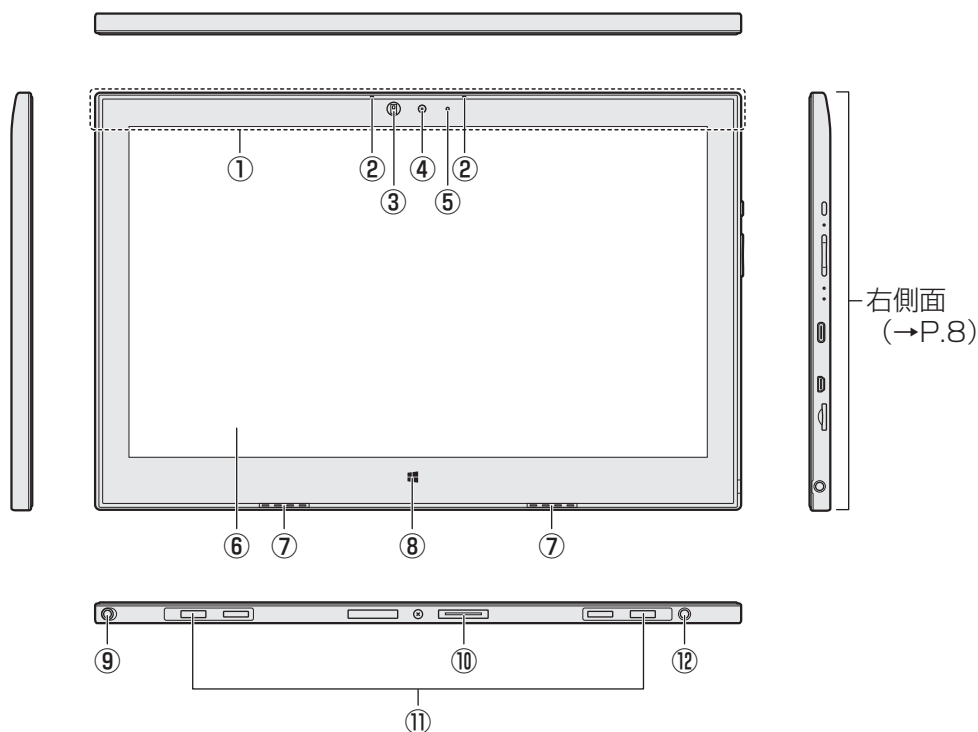
⚠ 注意



- 本製品を持って振り回さない
ご使用の際は、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
ほかの人にぶつかけたりして、けがをさせるおそれがあります。

お願い 外観図について

- 本製品に表示されているコネクタ/LED/スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成を想定しています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。ご購入のモデルの仕様については、『*** *（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

1 タブレット前面図

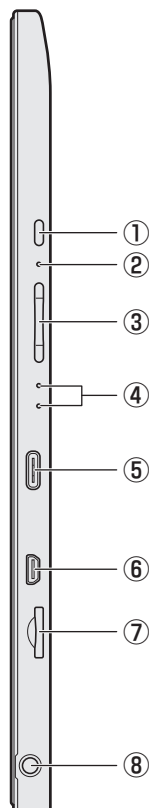


- ① この部分に無線通信用のアンテナが内蔵されています。
- ② **マイク**
- ③ **照度センサー**
この部分に本体ディスプレイの明るさを自動調整するためのセンサーが内蔵されています。照度センサーをふさがないでください。正常に調整されない場合があります。
- ④ **Webカメラ**
写真や動画を撮影するためのものです。
- ⑤ **WebカメラLED**
Webカメラ（前面）の使用時に点灯します。
- ⑥ **ディスプレイ（画面）**
- ⑦ **スピーカー**
- ⑧  **Windows ボタン**
スタートメニューの表示／非表示を切り替えます。
- ⑨ **リザーブペン**
* ペン付属モデルのみ
参照▶ 『活用編 2章 7 ペンを使う』
参照▶ ペンボタンとテールスイッチを無効にするには
『活用編 2章 7 ペンを使う』
- ⑩ **ドッキングポート**
キーボードドックを接続できます。
- ⑪ **ドッキングガイド**
- ⑫  **電源コネクタ**

2 タブレット右側面図

1 章

本製品の準備



① 電源スイッチ

② シャットダウンホール

本製品が応答しない場合は、電源を強制的に切ることができます。

参照 「2章 5 - 2 - Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった」

参照 「2章 5 - 3 - Q 本製品が応答しなくなった」

③ 音量ボタン（音量大（+）、音量小（-）ボタン）

音量を調整します。

④ システムインジケータ

⑤ USB Type-C™ コネクタ*1

USB 対応機器を接続します。USB3.1 Gen1（5Gbps、5V／900mA）規格に対応し、USB データ転送のみサポートしています。

⑥ HDMI HDMI®（micro）出力端子

HDMI®（micro）ケーブルを接続して、HDMI® 入力対応機器（テレビ、外部ディスプレイなど）に本製品の映像を表示します。

⑦ microSD カードスロット

microSD メモリカードをセットします。

⑧ マイク入力/ヘッドホン出力端子

マイクやヘッドホンを接続します。

マイク入力時はモノラル音声となります。

*1 USBの常時給電の設定を行うと、本製品の電源が入っていない状態でも、USBコネクタから外部機器に電源を供給することができます。

USBの高速充電の設定を行うと、USBコネクタから外部機器に短時間で充電できます。

参照 『活用編 4章 2 USB対応機器を使う』

⚠ 注意

- クリップなどを使う場合は、取り扱いに十分注意する
先端のとがった部分でけがをするおそれがあります。

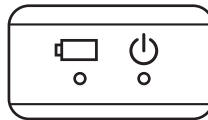
お願い

■ シャットダウンホールについて

- 本製品が応答しない場合は、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）でシャットダウンホールを押してください。電源が切れます。
その際に保存されていないデータは消失します。

1 システムインジケータ

システムインジケータの点灯状態によって、本製品の状態を知ることができます。

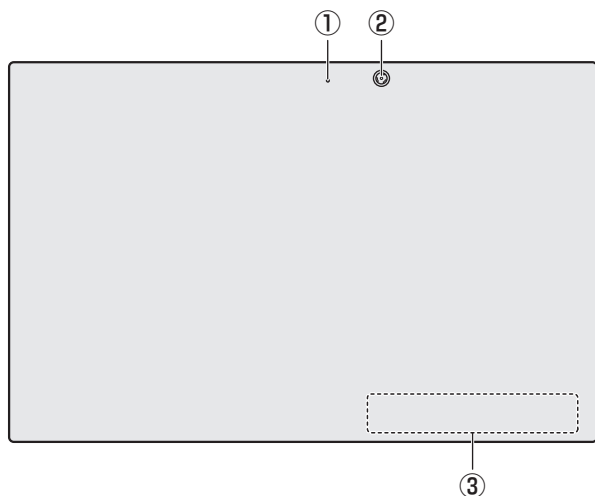


	Battery LED	電源コードとACアダプター接続の状態やバッテリーの状態 参照 ▶「本章 5 - 2 - 電源とバッテリーに関する表示」
	Power LED	電源の状態 参照 ▶「本章 5 - 2 - 電源とバッテリーに関する表示」

3 タブレット背面図

1章

本製品の準備



① WebカメラLED

Webカメラ（背面）の使用時に点灯します。

② Webカメラ

③ 型番と製造番号

型番（機種名）と製造番号が記載されています。

※バッテリーパックは本製品に内蔵されています。

⚠ 危険

● 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する

お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。

寿命などで交換する場合のお問い合わせ先は、「2章 11 サービス&サポートのご案内」を確認してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

お願い

■ 本製品のメモリについて

- メモリの交換・増設はできません。

■ 本製品の背面について

- 本製品の背面には、正規のWindowsであることを証明する、「Windows」というMicrosoftのラベルが貼ってあります。
はがしたり汚したりしないでください。

* Windows 10 Pro、Windows 8.1 Proの場合のみ

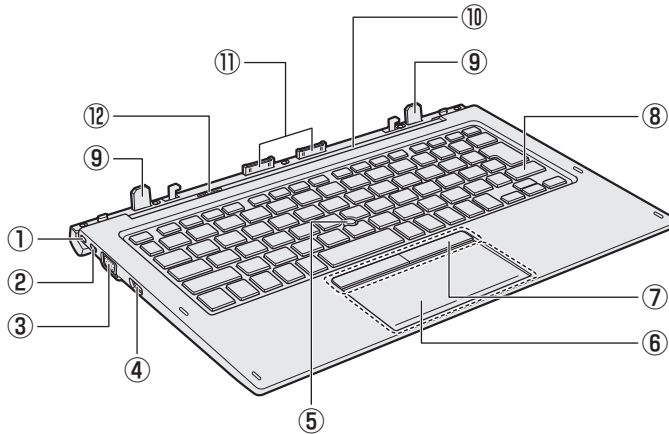
■ 機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「2章 12- 1 本体について」

4 キーボードドック前面図（左側）

*キーボードドック付属モデルのみ



① **■** **☒** セキュリティロック・スロット

② セキュリティロック・スイッチ

③ **□** RGBコネクタ

外部ディスプレイと接続して、本製品の映像を外部ディスプレイに表示します。

④ **HDMI** HDMI[®] 出力端子

HDMI[®] ケーブルを接続して、HDMI[®] 入力対応機器（テレビ、外部ディスプレイなど）に本製品の映像を表示します。

⑤ アクュポイント

参照 『活用編 6章 2 タッチパッド』

⑥ タッチパッド（クリックパッド）、左ボタン、右ボタン

参照 『活用編 6章 2 タッチパッド』

⑦ 左ボタン、右ボタン

参照 『活用編 6章 2 タッチパッド』

⑧ キーボード

⑨ ガイドピン

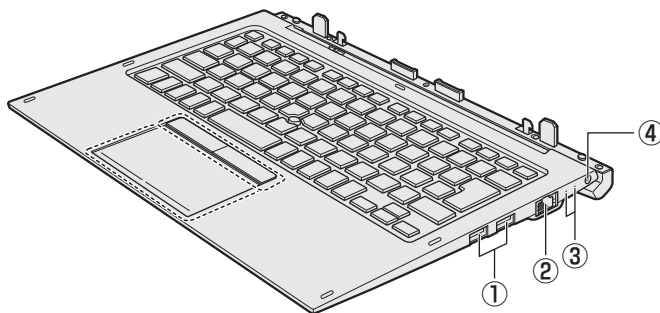
⑩ ヒンジ

⑪ ドッキングコネクタ

⑫ ラッチノブ

5 キーボードドック前面図（右側）

*キーボードドック付属モデルのみ



①  USBコネクタ

USB対応機器を接続します。
USB3.0規格に対応しています。

②  LANコネクタ

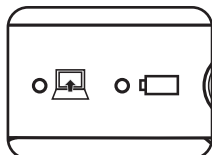
LANケーブルを使用して、通信回線に接続します。



③ システムインジケータ

④  電源コネクタ

1 システムインジケータ

キーボードドック前面図（右側）のシステムインジケータについて説明します。
システムインジケータは、点灯状態によって、キーボードドックの状態を知ることができます。

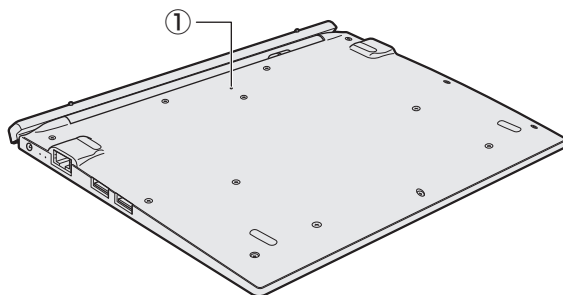


	Docking Status LED	キーボードドックの状態 タブレットとキーボードドックの接続時、タブレットの電源が入っていると、キーボードドックの電源も入り、点灯します。
	セカンド Battery LED *1	電源コードとACアダプター接続の状態やセカンドバッテリーの状態 参照 ▶『活用編 6章 5 セカンドバッテリーについて』

* 1 セカンドバッテリー内蔵モデルのみ、点灯します。

6 キーボードドック裏面図

*キーボードドック付属モデルのみ



① リセットボタン*¹

* 1 セカンド バッテリー内蔵モデルのみ動作します。

参照▶『活用編 9章 4 - 15 その他』

※一部のモデルのみ、セカンド バッテリーが内蔵されています。

⚠ 危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する
お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。
寿命などで交換する場合のお問い合わせ先は、「2章 4 サービス&サポートのご案内」を確認してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

お願い

- 機器への強い衝撃や外圧について
- あらかじめ、次の説明を確認してください。
参照▶「2章 12 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」

3

本製品のスタイルについて

1章

本製品の準備


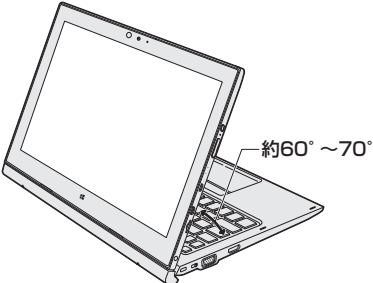

* キーボードドックについては、付属またはオプションのキーボードドックのみ

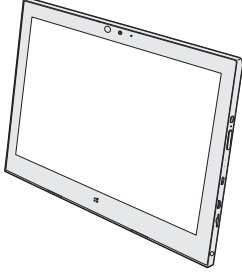
1 スタイルの種類

タブレットとキーボードドックを接続して使用できるスタイルには、次の種類があります。各スタイルに適した使いかたと推奨角度を確認してください。

推奨角度を守らないと、倒れて破損するおそれがあります。

* イラストはイメージです。

スタイル	形状と推奨角度	使用例
①ノートPCスタイル		<ul style="list-style-type: none">● 文章の作成など、キーボード入力が必要とする作業に適しています。
②スタンドスタイル		<ul style="list-style-type: none">● 写真をスライドショーで見たりビデオを再生するなど、画面のタッチ操作が少ない作業に適しています。
③タブレットスタイル		<ul style="list-style-type: none">● Webブラウジングなど、頻繁に画面のタッチ操作を行う場合に適しています。

スタイル	形状と推奨角度	使用例
④タブレット		<p>キーボードドックを接続していない状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Webブラウジングなど、頻繁に画面のタッチ操作を行う場合に適しています。 ● 背面のWebカメラを使つての写真撮影に適しています。

2 スタイルを変更する

各スタイルに変更する手順について説明します。

スタイルを変更する前に、あらかじめ次の内容を確認してください。

⚠ 注意

- 本製品の表面や底面に長時間触れない

機器の表面や底面は熱くなります。

低温やけどを避けるため、長時間ひざの上など直接肌に触れた状態で使用しないでください。

<ノートPCスタイル>

- 本製品を持って振らない

ディスプレイが手前に閉じたり、指をはさんでけがをするおそれがあります。

<タブレットスタイルおよびタブレット>

- 本製品を持って振り回さない

ご使用の際には、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

ほかの人にぶついたりして、けがをさせるおそれがあります。

1 各スタイルでの使用にあたってのお願い

- USB コネクタに接続すると本製品が浮き上がるような分厚いUSB対応機器の場合は注意して使用してください。本製品のUSBコネクタに力が加わり破損するおそれがあります。
- キーボードドックの取り付け／取りはずしについては、次の説明を確認してください。

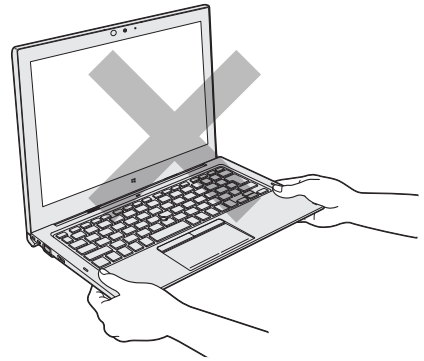
参照 「本項 - **2** キーボードドックを取り付けるには」

持ち運ぶときはキーボードドックが確実に装着していることを確認してください。

- ディスプレイはゆっくり閉じてください。強く閉じると、ディスプレイの画面に傷がついたり、液晶パネルが故障するおそれがあります。

■ ノートPCスタイル

- 本製品を持つときは、図のようにキーボードドック部分を持たないでください。本製品が破損するおそれがあります。移動するときはディスプレイを閉じて持ってください。



■ スタンドスタイル

- ディスプレイとキーボード部分は安定した角度で開いて使用してください。使用する状態によって適切な角度に調整してご使用ください。

参照 スタンドスタイルの形状と推奨角度「本節 **1** スタイルの種類」

角度が小さすぎると本体が倒れ、破損するおそれがあります。

- スタンドスタイルでタッチ操作を行うときは、ディスプレイの角度に注意し、必ず片手でディスプレイを支えながら使用してください。本体が倒れて故障するおそれがあります。

■ タブレットスタイル

- タブレットスタイルでは、温度上昇を抑えるため、CPU性能より冷却を優先します。CPU性能を優先したい場合は、ノートPCスタイル、スタンドスタイルで使用してください。
- タブレットスタイルでは、キーボードを使用できません。

■ タブレット

- キーボードドックを接続しないで使用しているときは、温度上昇を抑えるため、CPU性能より冷却を優先します。CPU性能を優先したい場合は、ノートPCスタイル、スタンドスタイルで使用してください。

2 キーボードドックを取り付けるには

本製品は、タブレットをキーボードドックに取り付けて、各スタイルで使用することができます。

注意

- タブレットを接続していない状態で、キーボードドックのヒンジを操作しない
ヒンジが破損するおそれがあります。
- タブレットをキーボードドックに接続するときに指をはさまないようにする
けがをするおそれがあります。
- タブレットをキーボードドックに接続するときは、タブレットからケーブル類を抜く
本体やACアダプター、ケーブル、コネクタ類を傷つけるおそれがあります。
- ノートPCスタイルでパームレスト部だけを持って持ち上げない
破損や故障のおそれがあります。
- ノートPCスタイルでディスプレイ（タブレット部分）を閉じる場合は、指や物をはさま
ないようにする
けがや破損、故障が発生するおそれがあります。
- キーボードドックのラッチノブを左方向にスライドして、タブレットを取りはずす
ラッチノブをスライドしないでタブレットを取りはずすと、破損や故障のおそれがありま
す。
- ノートPCスタイルで画面をタッチするときは、強く押さない
画面を強くタッチすると、本製品が倒れるおそれがあり、けがや故障の原因となります。
- キーボードドックのコネクタ、フック部分に触れない
けがや破損のおそれがあります。

お願い 接続する前に

- タブレットをキーボードドックから取りはずしたあと、再接続したい場合は、5秒以上
間隔をあけてから行ってください。

お願い ディスプレイ（タブレット部分）を開くときは

- ディスプレイ（タブレット部分）を開き過ぎるとヒンジに力がかかり、破損や故障の原
因となります。ヒンジに無理な力が加わらないよう開閉角度に注意してご使用ください。

タブレットにキーボードドックを取り付ける

次の手順でタブレットにキーボードドックを取り付けてください。

1章

本製品の準備

お願い 取り付ける前に

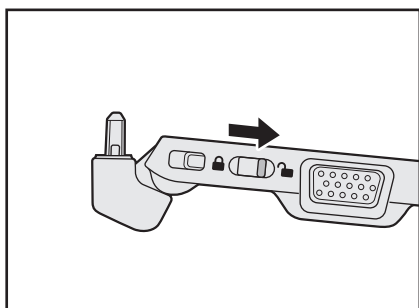
- 次の状態で、タブレットにキーボードドックを取り付けしないでください。
本製品が正常に動作しない場合があります。
 - ・ Windowsの起動中（デスクトップ画面、またはスタート画面が表示されるまでの間）
デスクトップ画面、またはスタート画面が表示されたことを確認してから、取り付けてください。
 - ・ Windowsのシャットダウン中
Power LEDが完全に消灯したことを確認してから、取り付けてください。
 - ・ スリープへの移行中
Power LEDが点滅を開始したことを確認してから、取り付けてください。
 - ・ 休止状態への移行中
Power LEDが完全に消灯したことを確認してから、取り付けてください。

1 タブレットからACアダプター、周辺機器、ケーブル類を取りはずす

参照▶ 機器の取りはずし『活用編 4章 1 周辺機器を使う前に』

2 データを保存し、使用しているアプリケーションを終了して、タブレットの電源を切る

3 キーボードドックのセキュリティロック・スイッチを右側（解除側）にスライドする



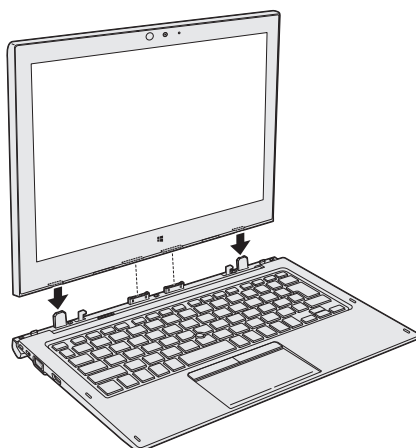
4 タブレットのドッキングガイドをキーボードドックのガイドピンに合わせてゆっくり矢印の方向に差し込む

テーブルなど、キーボードドックが置いてある面から、90°の角度でタブレットを接続してください。

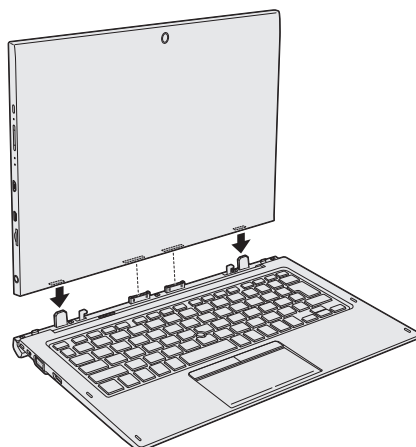
タブレットを差し込むと、ラッチノブが一度左側にスライドします。

キーボードドックと正しく接続されると、ラッチノブは中央（ロック側）に戻ります。ノートPCスタイルの場合はタブレット前面を正面に、スタンドスタイル、タブレットスタイルの場合はタブレット裏面を正面に向けて接続してください。

■ ノートPCスタイルの場合

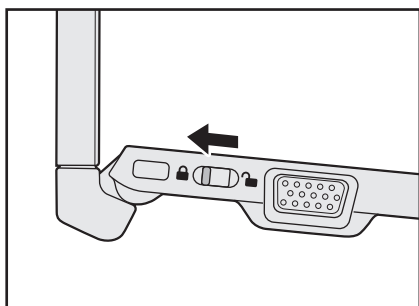


■ スタンドスタイル、タブレットスタイルの場合



5 キーボードドックのセキュリティロック・スイッチを左側（ロック側）にスライドする

セキュリティロック・スイッチをロックすると、ラッチノブが動かなくなります。



スタンドスタイルへの変更について

タブレットとキーボードドックを接続後、次の手順を行ってください。

1章

本製品の準備

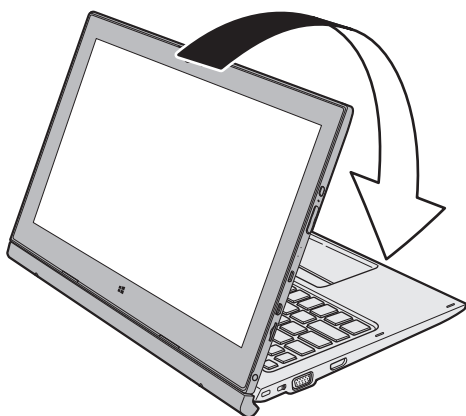
1 ディ스플레이 (タブレット) を推奨角度 (約60° ~70°) まで倒す



タブレットスタイルへの変更について

タブレットとキーボードドックを接続後、次の手順を行ってください。

1 ディ스플레이 (タブレット) をキーボード側まで倒す



キーボードドックからタブレットを取りはずす


タブレットをキーボードドックから取りはずすときには、使用しているアプリケーションなどのプログラムをすべて終了させてください。

お願い 取りはずす前に



- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失する可能性があります。
- タブレットのバッテリー充電量が10%以下の場合、キーボードドックからタブレットを取りはずさないでください。
保存されていないデータは消失する可能性があります。
- 次の状態で、タブレットからキーボードドックを取りはずさないでください。
本製品が正常に動作しない場合があります。
 - ・ Windowsの起動中（デスクトップ画面、またはスタート画面が表示されるまでの間）
デスクトップ画面、またはスタート画面が表示されたことを確認してから、取りはずしてください。Windowsが起動した後は、キーボードドックの **[FN] + [E]** キー（イジェクト）を押してから取りはずしてください。
 - ・ Windowsのシャットダウン中
Power LEDが完全に消灯したことを確認してから、取りはずしてください。
 - ・ スリープへの移行中
Power LEDが点滅を開始したことを確認してから、取りはずしてください。
 - ・ 休止状態への移行中
Power LEDが完全に消灯したことを確認してから、取りはずしてください。
- タブレットをキーボードドックから取りはずしたあと、すぐに接続したい場合は5秒以上間隔をあけてから行ってください。

1 データを保存し、使用しているアプリケーションを終了させる

2 キーボードドックの **[FN] + [E]** キー（イジェクト）を押す

キーボードドックを接続すると、通知領域に「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコン（）が表示されます。

[FN] + [E] キーを押したあとに通知領域を確認して、次のいずれかの状態であればタブレットを取りはずすことができます。

- ・ 「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコン（）が表示されていない
- ・ 「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコン（）をタップして表示されるメニューに、「ドッキングステーションの取り出し」がない

「タブレットモードに切り替えますか？」というメッセージが表示された場合、必要に応じて「はい」または「いいえ」を選択してください。

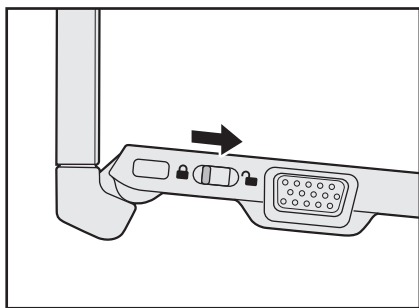
タブレットのバッテリー充電量が10%以下の場合、取りはずすことはできません。電源を切ってから、手順 **3** を行ってください。

参照 『活用編 5章 **1** - **1** - **2** 通知領域の [バッテリー] アイコンで確認する』

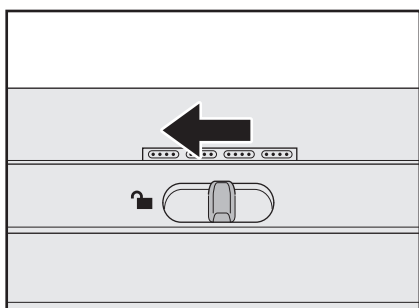
参照 電源の切りかた「本章 **5** - **3** 電源を切る」

3 キーボードドックのセキュリティロック・スイッチを右側（解除側）にスライドする

セキュリティロック・スイッチを解除しないと、ラッチノブは動きません。

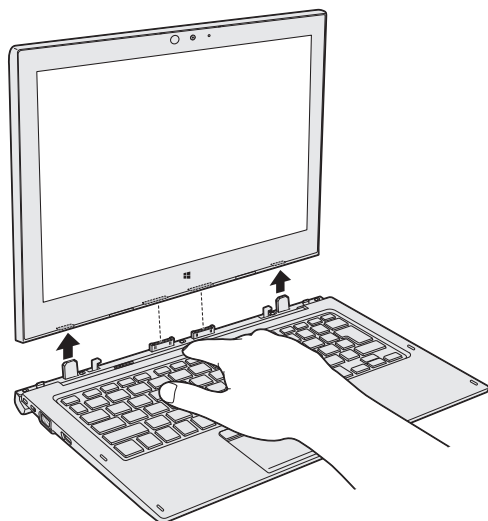


4 キーボードドックのラッチノブを左側（解除側）にスライドする



5 タブレットをキーボードドックから取りはずす

キーボードドックを手でしっかりおさえて、タブレットを持ち上げてください。





* ペン付属モデルのみ

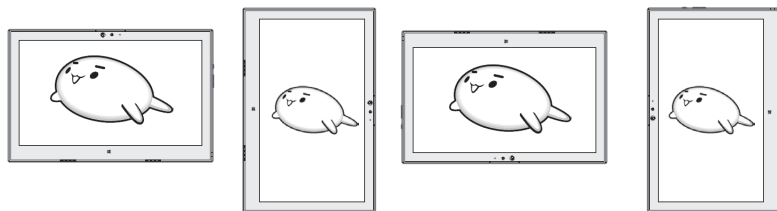
デジタルペーパーペンまたはリザーブペーパーは、製品ごとに最適化していただくことで、画面上のポインタをより正しい位置に表示することができます。

ご使用の前に、次の手順でポインタの表示位置を調整してください。

 メモ

- 画面表示を固定している場合は、あらかじめ [スタート] ボタン () をタップし、[設定] → [システム] → [ディスプレイ] をタップして、[回転ロック] を [オフ] にして設定を解除してください。

- ① タブレットにして、電源を入れる
- ② [スタート] ボタン () をタップする
- ③ [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル] をタップする
- ④ [ハードウェアとサウンド] をタップする
- ⑤ [ワコムペン] をタップする
[ワコムペン] 画面が表示されます。
- ⑥ [調整開始] をタップする
調整が開始されます。
- ⑦ 画面に表示される◎の中央をペン先でタップする (4か所)
- ⑧ 位置調整が完了したら、[終了] をタップする
- ⑨ 画面表示の向きを90°回転させる
位置調整は縦横それぞれ4方向で行う必要があります。画面が回転したことを確認後、手順⑦～⑨の操作を繰り返します。



- ⑩ 4方向で位置調整が完了したら、[終了] をタップする
位置調整完了です。
- ⑪ [OK] をタップする
- ⑫ ポインタ位置とペン先がずれていないか確認する
画面をペン先でタッチし、ポインタ位置を確認してください。
位置がずれていた場合は、再度手順②から操作をやり直してください。

5 電源を入れる／切る

1章

1 電源コードとACアダプターを接続する

警告

- ACアダプターは本製品に付属のものを使用する
本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や（+）（-）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- 本製品にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する
順番を守らないと、ACアダプターのプラグが帯電し、感電またはけがをする場合があります。
また、ACアダプターのプラグを本製品の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

注意

- 付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない
付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

お願い 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

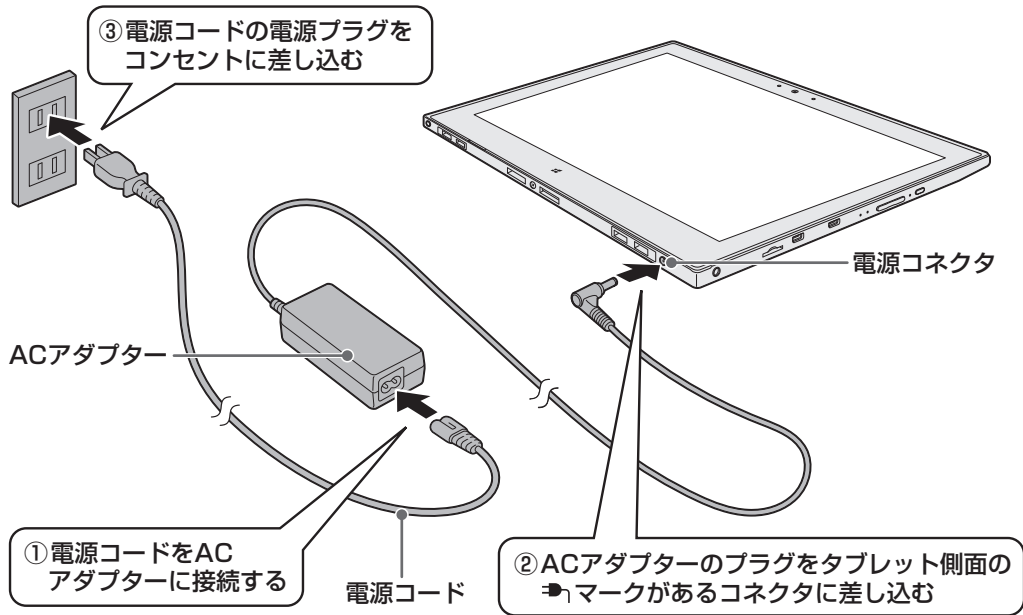
- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「2章 12 - 3 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて」

次の図の①→②→③の順で行ってください。

■タブレットのみの場合

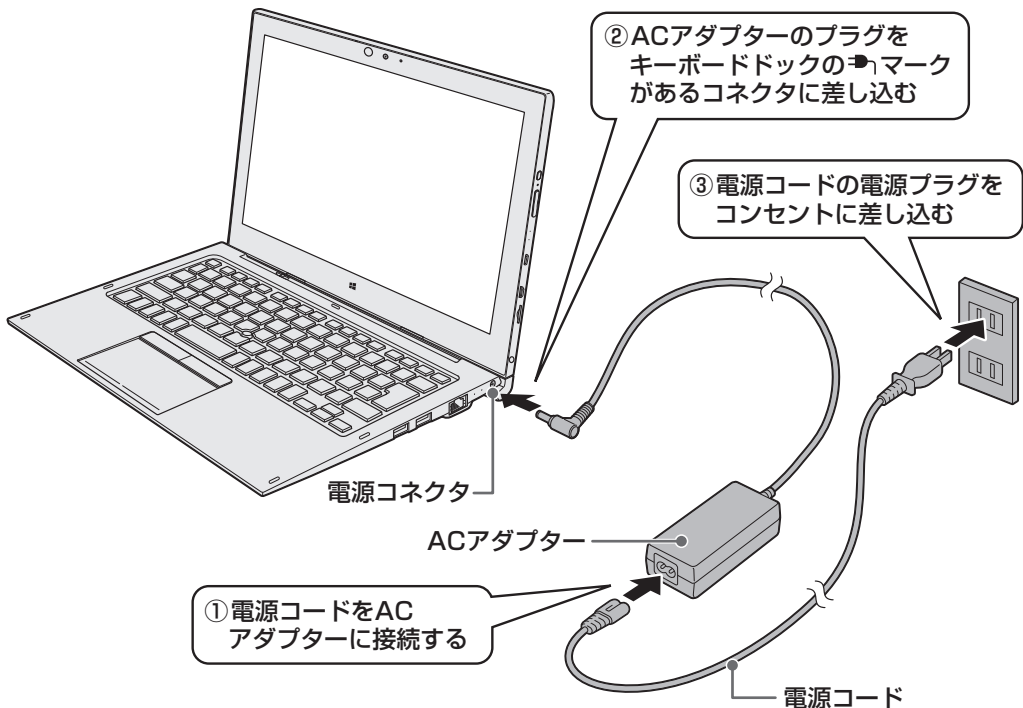
タブレットの電源コネクタにACアダプターを接続します。



■キーボードドックと接続している場合（ノートPCスタイル）

キーボードドックの電源コネクタにACアダプターを接続します。

キーボードドックにセカンド バッテリーが内蔵されている場合、タブレットを接続していない状態では、セカンド バッテリーのみ充電します。



接続すると

システムインジケータのBattery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。Battery LEDが白色に点灯したら、充電完了です。

参照 ▶ Battery LED「本節 2 - 電源とバッテリーに関する表示」

メモ

- バッテリー充電中でも本製品を使用することができます。

参照 ▶ 『活用編 5章 バッテリー駆動で使う』

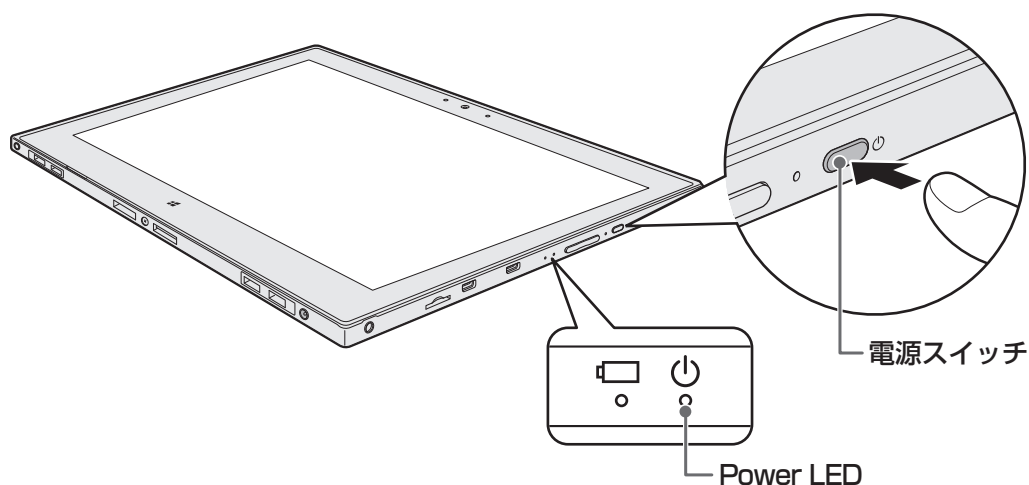
2 電源を入れる

お願い 電源を入れるときは


- ディスプレイ（画面）に触れたまま電源を入れしないでください。ディスプレイ（画面）が一時的に反応しない場合があります。

1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押ししてください。Power LEDが白色に点灯することを確認してください。



■ 各種パスワードを設定している場合

パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力して **[Enter]** キー () をタップしてください。

■ ロック画面が表示された場合

ロック画面 (画面左下に大きく日時が表示されている状態) が表示された場合は、画面の下側から上に向かってスワイプしてください。次の画面に進みます。



■ 複数のユーザーで本製品を使用している場合

表示されているユーザーとは違うユーザーでサインインしたいときは、ユーザーを切り替えてください。

電源とバッテリーに関する表示

電源とバッテリーの状態は各LEDの点灯状態で確認することができます。

電源とバッテリーに関係あるLEDとそれぞれの意味は次のとおりです。

	状態	本製品の状態
Battery  LED	白色の点灯	電源コードとACアダプターを接続している (バッテリー充電完了)
	オレンジ色の点灯	電源コードとACアダプターを接続している (バッテリー充電中)
	オレンジ色の点滅	充電が必要
	白色の点滅	故障の可能性がある 再度電源スイッチを押してください。点滅が続く場合、故障の可能性があるので、東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口に連絡してください。
	消灯	電源コードとACアダプターを接続していない 電源コードとACアダプターを接続していても消灯している場合は、バッテリー異常の可能性があります。東芝PCあんしんサポート 使いかた相談窓口に連絡してください。
Power  LED	白色の点灯	電源ON
	白色の点滅	スリープ中
	消灯	電源OFF、休止状態

* 電源とバッテリーに関するトラブルについては、『活用編 9章 **4** Q&A集』を参照してください。

メモ

- モデルによっては、ピークシフト期間中やeco充電モードで規定値以上充電されると、バッテリーへの充電は一時的に停止されます。

3 電源を切る

本製品を使い終わったとき、電源を切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失ったりするおそれがあります。中断するときは、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する「スリープ」があります。

参照 ▶ スリープについて『活用編 2章 1-5 スリープ』

警告

● 電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る

本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。

・ 無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。

①通知領域の  アイコンをタップする

②[機内モード] をタップして、ONに切り替える

ONになると、通知領域に  アイコンが表示されます。


・ スリープや休止状態では、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。

・ 電源を切った状態で待機中でも、本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- SSDやメディアへのアクセス中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。
- 記録メディア保護のため、記録メディアを取りはずしてください。

1 [スタート] ボタン () をタップする


2 [電源] () → [シャットダウン] をタップする




(表示例)

Windows を終了したあと、本製品の電源が自動的に切れます。
本製品の電源が切れると、Power  LED が消灯します。



- [スタート] ボタン () を長押しして、表示されるメニューから [シャットダウンまたはサインアウト] → [シャットダウン] をタップしても、電源を切ることができます。
- システムが操作できなくなり、電源を切ることができない場合は、電源スイッチを5秒以上押すと、強制的に電源を切る (強制終了) ことができます。
強制終了は、システムが操作できなくなったとき以外に行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になり、保存していないデータは消失します。

お願い 電源を切ったあとは

- 本製品に接続している機器 (周辺機器) の電源は、本製品の電源を切ったあとに切ってください。
- 本製品や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。
- 周辺機器の取り付け／取りはずし、BIOS セットアップの設定などを行うときは、以下の手順で電源を切ってください。
 - ① [スタート] ボタン () をタップする
 - ② [設定] をタップする
 - ③ [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
 - ④ [PC の起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップする
 - ⑤ [オプションの選択] 画面で [PC の電源を切る] をタップする

1 インターネットを使うには

インターネットを使うには、次のような流れで準備してください。

プロバイダーに加入する

プロバイダーとはインターネット接続の窓口となる会社のことです。会社によって使用料金やサービス内容が異なります。使用できるまでに数日かかる場合があります。

インターネットに接続するための回線機器と、本製品を接続する

インターネットへの接続方法によって接続する機器は異なります。

参照▶ 無線LANで接続する

「本節 **1** 無線LANで接続する」、『活用編 3章 **2** 無線LANを使う』

ウイルスチェックソフトの利用を開始する

インターネットやメールに添付されたファイルなどでコンピューターウイルスに感染する場合があります。感染すると、本製品が使用できなくなることがありますので、あらかじめウイルスチェックソフトの設定をしてください。

参照▶ ウィルスチェックソフトについて「本章 **2** ウィルス感染や不正アクセスを防ぐには」

インターネットの設定をする

インターネットの設定をするときは、プロバイダーとの契約時に送られてきた資料などを参照してください。

ウイルスチェックソフトのパターンファイルを更新する

ウイルス定義ファイル（パターンファイル）を最新のものに更新してください。

参照▶ ウィルスチェックソフトのヘルプ

メールの設定をする

メールを使う場合は、メールソフトの設定が必要です。

参照▶ 「本節 **2** メールを使用するために」、『メールソフトに付属している説明書』、メールソフトのヘルプ

設定完了



メモ

- 本製品に用意されているウイルスチェックソフトの設定をする前に、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。日付と時刻が合っていないと、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。

参照▶ 日付と時刻の設定について『活用編 9章 **4** - **3** - Q 内蔵時計が合っていない』

1 無線LANで接続する

 警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る
本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - ・ 無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。
 - ① 通知領域の  アイコンをタップする
 - ② [機内モード] をタップして、ONに切り替える
ONになると、通知領域に  アイコンが表示されます。
 - ・ スリープや休止状態では、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - ・ 電源を切った状態でも、本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い

- あらかじめ、次の説明を確認してください。
参照▶ 「本章 12 - 8 無線LANについて」
- 『活用編 付録 2 デイリーケアとアフターケア』に、セキュリティに関する注意事項や使用上の注意事項を説明しています。
無線LANを使用する場合は、記述を読んで、セキュリティの設定を行ってください。

1 通知領域の  アイコンをタップする

* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 をタップしてください。

2 [Wi-Fi] をタップして、ONに切り替える

ONにすると、アイコンに色が付き、アクティブな状態になります。

参照▶ 以降の無線LANの設定『活用編 3章 2 - 2 無線LANを設定する』

2 メールを使用するために


メールを使用するには、メールソフトでの設定が必要です。

メールソフトには、Windowsのメール機能や、Office搭載モデルの場合は「Outlook 2016」などがあります。

メールを送信・受信するためには、メールアドレスが必要になります。


メールアドレスは、プロバイダーなどのメールサービスに申し込むことで取得できます。

また、Microsoftアカウントでメールを使用することもできます。

Microsoft アカウントについては、タスクバーの「何でも聞いてください」() で、「Microsoft アカウント」と入力して検索してください。


参照 検索について『活用編 1章 1 - 4 Windowsの操作でわからないことがあったら』


● Windowsのメール機能の起動方法

- ① [スタート] ボタン () をタップする
- ② [メール] をタップする

● 「Outlook 2016」の起動方法

「Outlook 2016」を使用するには、インターネットに接続して、ライセンス認証を行ってください。

- ① インターネットに接続し、[スタート] ボタン () → [Outlook 2016] をタップする
初めて「Office」を起動した場合は、画面の指示に従ってライセンス認証を行ってください。
また、初めて「Outlook 2016」を起動したときは、「Outlook 2016へようこそ」という画面が表示されます。必要に応じて、設定を行ってください。

「Outlook 2016」の使いかたについては、起動後、[ファイル] タブ → [Microsoft Outlook ヘルプ] ボタン () をタップして表示されるヘルプを参照してください。

メモ

- メールを送受信を行う前にウイルスチェックソフトを設定することをおすすめします。

参照 ウイルスチェックソフトについて「本章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

本製品に用意されているウイルス・インターネットセキュリティ用のアプリケーションを紹介します。

お願い 使用するにあたって

あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶「本章 12 - 4 ウイルスチェック・セキュリティ対策について」

1 コンピューターウイルス対策

コンピューターウイルスの感染や不正アクセスから本製品を保護するため、初めてインターネットに接続したりメールを送受信する前に、ウイルスチェック機能があるソフトをインストールしてください。インストール後も、普段から定期的にコンピューターウイルスの検出を行うようにしてください。

本製品には、「ウイルスバスター クラウド™」が用意されています。ウイルスの発見や駆除、個人情報保護やネットワークセキュリティ対策ができるアプリケーションです。

参照▶ ウイルスバスター クラウド™について「本節 3 ウイルスバスター クラウド™によるウイルス対策」

2 インターネットをより安全に楽しむために

インターネットを利用すると、いろいろな情報を見ることができて大変便利です。しかしその反面、インターネット上には次のような有害なものが存在します。

- ・コンピューターウイルス
本製品に侵入し、本製品内に保存してあるデータを破壊するなどの悪さを行います。
- ・スパイウェア
本製品に侵入し、本製品内の情報（氏名やパスワード、ホームページの閲覧履歴など）を第三者に流出します。
- ・有害サイト
お子様に適さないサイトや、ウイルスに感染しているサイトなど、ユーザーに悪影響を与えるおそれがあるサイトです。

ウイルスチェックソフト、スパイウェア対策ソフト、有害サイト閲覧制限ソフトを上手に使って、快適にインターネットを楽しみましょう。



メモ

- 本製品にはユーザーの年齢やホームページのカテゴリによって表示するサイトを制限できる「i-フィルター® 6.0」が用意されています。

参照▶「i-フィルター® 6.0」について「本章 3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する」

3 ウイルスバスター クラウド™ によるウイルス対策

本製品に用意されている「ウイルスバスター クラウド™」は、90日間の使用期限がある体験版です。使用するには、インストールする必要があります。

インストールについては、『活用編 7章 1 ウイルスバスター クラウド™を使う』を参照してください。



「ウイルスバスター クラウド™」には、次のような機能があります。

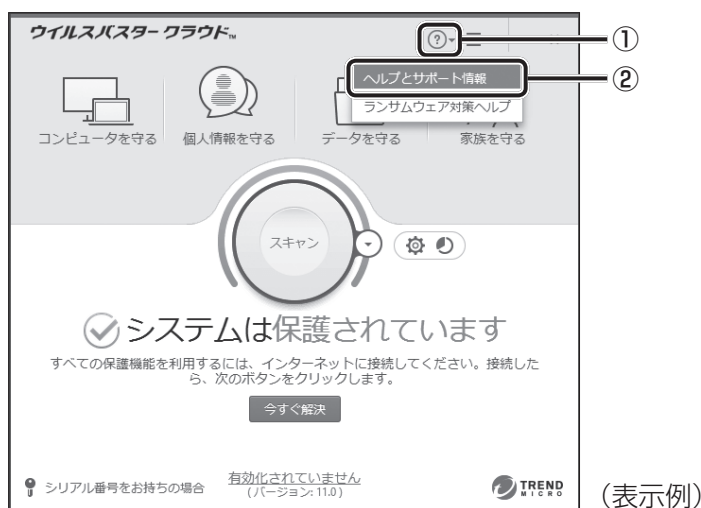
- コンピューターウイルスを検出／除去する
- フィッシング詐欺への対策をする
- 迷惑メールや詐欺メールを判定して処理する
- スパイウェアを検出して処理する
- 有害サイトへのアクセスを制限する
- 個人情報の漏えいを防止する など

詳しくは、ヘルプを確認してください。

ヘルプの起動

ヘルプを見るためには、インターネットに接続する必要があります。

- 1 [スタート] ボタン () をタップする
- 2 [ウイルスバスター クラウド] → [ウイルスバスターの表示] をタップする
[ウイルスバスター クラウド™] 画面が表示されます。
- 3 [ヘルプとサポート情報] ボタン () をタップし①、[ヘルプとサポート情報] をタップする②



[ウイルスバスターヘルプとサポート] 画面が表示されます。

参照 ウイルスバスター クラウド™のお問い合わせ先について
「本章 10 アプリケーションのお問い合わせ先」

インターネットに接続すると、世界中のいろいろなホームページを見ることができます。ニュースを読む、買い物をする、調べ物をするなど便利な使いかたもできますが、なかには有害なホームページもあります。

有害なホームページへのアクセスを遮断する「i-フィルター[®] 6.0」を使用することをおすすめします。

1 i-フィルター[®] 6.0

本製品には、フィルタリング機能をもつアプリケーションとして「i-フィルター[®] 6.0」が用意されています。「i-フィルター[®] 6.0」は、ユーザーの年齢やホームページのカテゴリによってアクセスを制限し、有害なホームページは表示しないように設定することができます。

お願い 使用期限について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶ 「本章 12 - 5 「i-フィルター[®] 6.0」について」

「i-フィルター[®] 6.0」の使いかたについては、『活用編 7章 2 i-フィルター[®] 6.0を使う』をご確認ください。

STEP1 本書の「Q&A集」から探す

本書の「Q&A集」に同じトラブルのQ&Aがないか、確認してみてください。

STEP2 『オンラインマニュアル』から探す

『オンラインマニュアル』内の『活用編』でも、本書の「Q&A集」では紹介していない、さまざまなQ&Aについて説明しています。

[スタート] ボタン () をタップし、[オンラインマニュアル] をタップして起動してください。



STEP3 「おたすけナビ」で探してみる

● 「おたすけナビ」で探してみる

* 「おたすけナビ」搭載モデルのみ

「おたすけナビ」を使うと、本製品に用意されているアプリケーションの中から、目的にあったアプリケーションを探し出すことができます。

● 「おたすけナビ」の起動方法

[スタート] ボタン () をタップし、[東芝おたすけナビ] をタップして起動してください。
ヘルプを起動するには、[おたすけナビ] 画面で  をタップします。

STEP4 サポートのサイトで調べる * インターネットに接続している場合● 東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」 (<http://dynabook.com/>)

「dynabook.com」では、お問い合わせの多い質問や最新のQ&Aが掲載されています。

● 「あなたのdynabook.com」

* 「あなたのdynabook.com」対象モデルのみ

「dynabook.com」の「サポート情報」にある「あなたのdynabook.com」には、ご利用の製品の「よくある質問 FAQ」、デバイスドライバーや修正モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などが掲載されています。

STEP5 それでもトラブルが解決しない場合は問い合わせる

● 本体のトラブルの場合

東芝PCあんしんサポートにご連絡ください。

● OSやアプリケーションのトラブルの場合

OSや各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 ▶ お問い合わせ先『活用編 付録 1 お問い合わせ先』

● 周辺機器のトラブルの場合

参照 ▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

ここに掲載しているQ&A集のほかに、『活用編 9章 本製品の動作がおかしいときは』にもQ&A集があります。目的の項目が見つからないときは、『活用編』も参照してください。

1 電源

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、Power LEDが点灯しない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。

確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう。または電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。

次の対処を行ってください。

- 本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電する
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

A 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

本製品が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるのを待ってください。

A 本製品からいったん、電源コードとACアダプター、キーボードドックをすべて取りはずしてください。

- ① 電源コードとACアダプター、キーボードドックを取りはずす
本製品に接続している周辺機器も取りはずしてください。電源コードとACアダプターを取りはずすと、電源が入らない状態になります。そのままの状態、しばらく放置してください。
- ② 電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
- ③ 電源スイッチを押し、指をはなす
確実に電源スイッチを押してください。電源が入るとPower LEDが点灯します。

参照▶ 電源コードとACアダプターの接続「1章 5 - ① 電源コードとACアダプターを接続する」

参照▶ 「1章 3 - ② - ② キーボードドックを取り付けるには」

- ④ それでも電源が入らない場合は、電源スイッチをさらに1回押す
電源が入るとPower LEDが点灯します。
- ⑤ 10秒程度待って、なにも反応しない場合は、さらに1回電源スイッチを押す
電源が入るとPower LEDが点灯します。
- ⑥ それでも電源が入らない場合は、電源スイッチを12秒ほど長押しして、指をはなす
- ⑦ 再度電源スイッチを押す
電源が入るとPower LEDが点灯します。
- ③～⑦の操作を行うと、内蔵時計がリセットされる場合があります。再度日付と時刻を設定してください。

参照▶ 日付と時刻の設定について『活用編 9章 4 - ③ - Q 内蔵時計が合っていない』

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口にご連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない**A** 起動ドライブをSSD以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

次の手順で操作してください。

- ① システムが入っている記録メディアと取り換える、またはドライブから記録メディアを取り出す
- ② Windows ボタンを押す、またはキーボードドックか外付けUSBキーボード（市販品）を接続して何かキーを押す

それでも正常に起動しない場合は、以下の操作を行ってください。

- ① 電源スイッチを5秒以上押し続けて電源を切る
- ② 音量大（+）ボタンを押し続けながら、電源スイッチを押し続ける（[Boot Menu] 画面が表示されるまで）
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[Enter]** キーをタップすると、[Boot Menu] 画面が表示されます。
- ③ 起動したいドライブをタップして選択後、再度タップする

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある**A** バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

次の対処を行ってください。

- 本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電する（他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません）

参照▶『活用編 5章 **1** - **2** バッテリーを充電する』

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる**A** Power LEDが点灯している場合、省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。画面にタッチすると表示が復帰します。

テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A Power LEDが点滅しているか、消灯の場合、自動的にスリープまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間本製品を使用しないときに、自動的にスリープまたは休止状態にするように設定されています。

復帰させるには、電源スイッチを押してください。

2 画面／表示

Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった**A** 電源スイッチを5秒以上押ししてWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本節 **3** - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。**Q** しばらく放置したら、画面が真っ暗になった**A** 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。画面にタッチすると表示が復帰します。

テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、本製品をスリープや休止状態から復帰したとき、本体ディスプレイに何も表示されない**A** テレビまたは外部ディスプレイに、画面表示が切り替わっている可能性があります。

テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れて確認してください。本製品の画面が表示されていた場合は、『活用編 4章 **3** テレビや外部ディスプレイを接続する』を参照して、本体ディスプレイに表示を切り替えてください。

Q テレビまたは外部ディスプレイを取りはずしたときに、画面が表示されなくなった**A** テレビまたは外部ディスプレイを接続してください。

テレビまたは外部ディスプレイをメインディスプレイに指定して拡張表示の設定をした場合、スリープや休止状態のときにテレビまたは外部ディスプレイを取りはずすと、スリープや休止状態から復帰したときに画面が表示されないことがあります。

テレビまたは外部ディスプレイの取りはずしは、スリープや休止状態のときに行わないでください。

Q キーボードドックを接続し、すぐにタブレットスタイルへ変更したら画面が真っ暗になった

*キーボードドックを接続している場合のみ

A 一度、キーボードドックに対して90°の状態にディスプレイ（タブレット部分）をたててください。

表示が復帰します。

参照 キーボードドックの取り扱い「1章 **3** 本製品のスタイルについて」

3 システム/SSD

Q 本製品が応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、本製品を再起動してください。

参照 ▶ 再起動『活用編 2章 1 - 4 再起動』

A Windows 起動時に問題が起きた場合や、本製品を再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ/休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 電源スイッチを5秒以上押しても強制終了できない場合は、シャットダウンホールを押して強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ/休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

参照 ▶ シャットダウンホール「1章 2 - 2 タブレット右側面図」

A システムが処理中の可能性があります。

システム処理中は、操作を受け付けられない場合があります。操作によっては、システム処理中はポインターが輪の形（○）になっています。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照 ▶ 『アプリケーションのヘルプ』

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションを本製品にインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 ▶ 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属の説明書』

4 タッチパネル

Q 電源を入れたあと、タッチパネルが反応しない

A タッチパネルに触れたまま電源を入れると、タッチパネルが一時的に反応しない場合があります。

タッチパネルに触れないで、しばらく待ってからお使いください。

5 メッセージ

Q 起動時に「**** Date and Time reset to default **** Press Windows Button and set the Date and Time in OS.」と表示され、Windows が起動しない

A 時計用バッテリーが不足しています。

時計用バッテリーは、電源コードとACアダプターを接続し電源を入れているときに充電されます。

WindowsキーまたはWindowsボタンを押してWindowsを起動し、次の手順で日時を設定し直してください。

- ① 通知領域の日付・時刻表示を長押しする
- ② [日付と時刻の調整] をタップする
- ③ [日付と時刻] をタップする
- ④ [時刻を自動的に設定する] がONの場合はOFFにする
- ⑤ [日付と時刻を変更する] の [変更] をタップする
- ⑥ 日付と時刻を修正して [変更] をタップする
- ⑦ [時刻を自動的に設定する] をONに戻す

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照▶ 日付と時刻の設定について『活用編 9章 4 - 3 - Q 内蔵時計が合っていない』

Q 次のようなメッセージが表示された

- [Insert system disk in drive.Press any key when ready]
- [No bootable device - Please restart system]

A 次のとおり操作してください。

- ① CD/DVDや、USBフラッシュメモリなどの起動ディスクを取り出す
- ② Windowsボタンを押す、またはキーボードドックか外付けUSBキーボード（市販品）を接続して何かキーを押す

上記の操作を行っても解決しない場合は、東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口にご連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

A 『使用しているシステムやアプリケーションに付属の説明書』を確認してください。

6 その他

Q SSDから本製品を初期状態に戻せなくなったときは

A SSDに搭載されている初期状態に戻すためのツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、本製品を初期状態に戻せなくなることがあります。

「TOSHIBA Recovery Media Creator」で作成したリカバリーメディア、または付属のリカバリーDVD-ROM（付属しているモデルのみ）を使って、リカバリーしてください。

参照▶ リカバリーについて「本章 **7** 本製品を初期状態に戻す」

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口にご相談ください。

参照▶ 修理のお問い合わせについて「本章 **11** サービス&サポートのご案内」

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A 「トラブルを解消するまでの流れ」のSTEP2へ進んでください。

本書の「トラブルを解消するまでの流れ」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照▶ 「本章 **4** 困ったときは」

A 本製品のトラブルの場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ OSやアプリケーションのお問い合わせ先『活用編 付録 **1** お問い合わせ先』

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

本製品の動作がおかしいと感じたときは、次の方法を実行してください。

次の方法を実行してみる

■ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。

参照▶ ウイルスチェックソフト「本章 **2** ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

■ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

購入後に追加で増設した機器が原因の可能性があるので、それらを取りはずしてから、再起動してください。また、電源関連のトラブルの場合は、本製品の電源を切り、電源コードとACアダプターをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してください。

参照▶ 機器の取りはずし『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

■ ほかのトラブル解消方法を探す

『活用編 9章 本製品の動作がおかしいときは』を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。

メモ

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、アプリケーションやドライバーの再インストールを行うことをおすすめします。

参照▶ 「本章 **8** プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

それでも改善しない場合

個人用ファイルを保持して、初期状態に戻す（回復）

OSに搭載されているトラブルシューティングのツールを使用すると、おもな個人用ファイルを消去せずに、本製品を初期状態に戻すことができます。

タスクバーの「何でも聞いてください」()で、「初期状態に戻す」と入力して検索してください。

それでも改善しない場合

本製品を初期状態に戻す（リカバリー）

個人データ、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などすべてを消去して、本製品を初期状態に戻します。大切なデータは、あらかじめバックアップしてください。

参照▶ 「本章 **7** 本製品を初期状態に戻す」
巻末の「リカバリーチェックシート」

本製品を初期状態に戻す（リカバリー）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元することです。SSD内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windowsパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- 本製品の動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- SSDにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*¹
- 本製品の調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

*¹ ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、本製品の電源を切ることができません。リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。
- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザーパスワード『活用編 8章 システム環境を設定する』

1 本製品を初期状態に戻す（リカバリー）流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

初期状態に戻す前に行う

バックアップをとる など 参照▶「本節 2 本製品を初期状態に戻す前にしておくこと」

初期状態に戻す（画面の指示に従い、Windows セットアップまで行います）

初期状態に戻す

参照▶「本節 3 いくつかある初期状態に戻す方法」
「本節 4 SSDから本製品を初期状態に戻す」
「本節 5 リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す」

Windows のセットアップ

参照▶「活用編 9章 5 初期状態に戻した（リカバリー）あとの Windows セットアップ」

初期状態に戻したあと、必要に応じて行う

周辺機器の接続

参照▶「活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう」
「各機器に付属している説明書」

ウイルスチェックソフトの
利用の開始

参照▶「本章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

インターネットの設定

参照▶「活用編 3章 インターネットやネットワークに接続する」

ウイルスチェックソフトの
パターンファイルの更新

参照▶ ウイルスチェックソフトのヘルプ

Windows Update

参照▶「活用編 1章 使いはじめる前に」

東芝サービスステーションで
ソフトウェアのアップデート

参照▶「活用編 1章 使いはじめる前に」

メールの設定

参照▶「本章 1 - 2 メールを使用するために」

アプリケーションの
インストールと設定

参照▶「アプリケーションに付属している説明書」

データの復元

参照▶「本節 6 - 1 バックアップしておいたデータを復元する」

2 本製品を初期状態に戻す前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- リカバリー手順と、巻末の「リカバリーチェックシート」を印刷したもの（本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合）
- リカバリーメディア（あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合）
- リカバリーDVD-ROM（付属しているモデルの場合）
- USBケーブル（市販品）*¹
- キーボードドック（お持ちの場合）*¹

*¹ USBフラッシュメモリのリカバリーメディアを使用する場合、キーボードドック、または市販のUSBケーブル（USB Type-C™コネクタ対応タイプのもの）が必要です。ただし、すべてのUSBケーブルでの動作を保証するものではありません。

参照▶ USBケーブルについて『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

- 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）*²
- *² DVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアを使用する場合、外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。
ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、SSDに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（CD／DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

- [ドキュメント]（または [マイ ドキュメント]）、[ピクチャー]（または [マイ ピクチャー]）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- インターネットの [お気に入り] のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

ただし、SSDをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、SSDに保存されていたデータは復元できません。

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（microSDメモ리카ード、CDなど）が、お手元にあることを確認してください。また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Office搭載モデルの場合は、リカバリーしたあとに「Office」のライセンス認証が必要です。

参照 ▶ 「Office」のライセンス認証について『活用編 はじめに 7』

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。

ONになっていない場合は、ONに切り替えてください。

① 通知領域の  アイコンをタップする

② [機内モード] をOFFに設定する

[機内モード] をタップするたびに、無線通信機能のON/OFFが切り替わります。

[機内モード] をOFFにするとアイコンがグレー表示になり、無線通信機能がONになります。

周辺機器を取りはずす

プリンターなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、本製品の電源を切ってから行ってください。

参照 ▶ 機器の取りはずし『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

3 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- SSDからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする


通常はSSDからリカバリーをしてください。

リカバリーメディアからのリカバリーは、SSDのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、SSDからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『活用編 1章 4 リカバリーメディアを作る』

メモ



- Windows 10の回復機能を使って、パソコンを初期状態に戻すには、① [スタート] ボタン () をタップ→② [設定] → [更新とセキュリティ] → [回復] をタップしてください。回復機能でリカバリーを実行すると、「TOSHIBA Recovery Media Creator」によるリカバリーメディアの作成ができなくなります。回復機能を実行する前に、「TOSHIBA Recovery Media Creator」でリカバリーメディアを作成してください。

4 SSDから本製品を初期状態に戻す


* 本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

メモ

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで  ボタンをタップし、[PCの電源を切る] ボタンをタップしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをタップしてください。

① データを保存し、次の方法で電源を切る

1. [スタート] ボタン () をタップする
2. [設定] をタップする
3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップする
5. [オプションの選択] 画面で [PCの電源を切る] をタップする

② 電源コードとACアダプターを接続する

- ③ **音量大 (+) ボタン**を押し続けながら、**電源スイッチ**を押し続ける ([Boot Menu] 画面が表示されるまで)

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[Enter]** キーをタップすると、[Boot Menu] 画面が表示されます。

- ④ **[HDD Recovery]** をタップして選択後、再度タップする

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順⑤に進んでください。

[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順⑥に進んでください。

- ⑤ **[Yes] (「YES」) または「はい」** をタップする

[オプションの選択] 画面が表示されます。

- ⑥ **[トラブルシューティング]** をタップする

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

- ⑦ **[TOSHIBA Maintenance Utility]** をタップする

[ツールの選択] 画面が表示されます。

- ⑧ **[TOSHIBA Recovery Wizard]** をチェックし、**[次へ]** ボタンをタップする

警告メッセージ画面が表示されます。

- ⑨ **画面の内容を確認し、[はい]** ボタンをタップする

- ⑩ **[初期インストールソフトウェアの復元]** をチェックし、**[次へ]** ボタンをタップする

[ハードディスク上の全データの消去] は、本製品を廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、SSDのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、SSD上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 ▶ 「**本章 9 - 2** SSDの内容をすべて消去する」

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをタップしてください。

- ⑪ **[次へ]** ボタンをタップする

処理が開始され、[しばらくお待ちください。] 画面が表示されます。

画面は、リカバリーの経過に従い切り替わります。

長い時間、同じ画面が表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

- ⑫ **[終了]** ボタンをタップする

セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。

この間は絶対に電源を切らないでください。また、キーボードドックを接続している場合、ディスプレイを閉じないでください。

- ⑬ **セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う**

参照 ▶ Windowsセットアップ

『活用編 9章 **5** 初期状態に戻した (リカバリー) あとのWindowsセットアップ』

5 リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す

* 本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

リカバリーDVD-ROMが付属していない場合、リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成「活用編 1章 4 リカバリーメディアを作る」

あらかじめ、次の準備を行ってください。

- USBケーブル（市販品）を使用する場合は、市販のUSBケーブル（USB Type-C™ コネクタ対応タイプのもの）を、本製品のUSB Type-C™ コネクタに接続してください。

参照 ▶ 接続方法『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

* ただし、すべてのUSBケーブルでの動作を保証するものではありません。

- キーボードドックをお持ちの場合、あらかじめキーボードドックを接続し、USBフラッシュメモリをキーボードドックのUSBコネクタに接続することにより、同様の接続となります。
- 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用して、DVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアでリカバリーする場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

参照 ▶ 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

* ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

メモ

- 操作を中断したい場合は、[キャンセル] ボタンをタップしてください。


① 電源コードとACアダプターを接続する

② リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。

参照 ▶ 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブの使用方法
『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

③ データを保存し、次の方法で電源を切る

1. [スタート] ボタン () をタップする
2. [設定] をタップする
3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップする
5. [オプションの選択] 画面で [PCの電源を切る] をタップする

④ 音量大 (+) ボタンを押し続けながら、電源スイッチを押し続ける ([Boot Menu] 画面が表示されるまで)

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **Enter** キーをタップすると、[Boot Menu] 画面が表示されます。

⑤ 起動したいドライブをタップして選択後、再度タップする

リカバリーメディアがDVD／ブルーレイディスクの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（[USB ODD] など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB Memory] など）を選択してください。

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

⑥ [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをタップする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑦ 画面の内容を確認し、[はい] ボタンをタップする

⑧ [初期インストールソフトウェアの復元] をチェックし、[次へ] ボタンをタップする

[ハードディスク上の全データの消去] は、本製品を廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、すべてのデータが削除されます。

参照▶「本章 9 - 2 SSDの内容をすべて消去する」

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをタップしてください。

⑨ [次へ] ボタンをタップする

処理が開始され、[しばらくお待ちください。] 画面が表示されます。

画面は、リカバリーの経過に従い切り替わります。

長い時間、同じ画面が表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、メディアを入れ替えるメッセージが表示され、リカバリーメディアを取り出せる状態になります。メディアの番号順に入れ替え、[OK] ボタンをタップしてください。

処理が完了すると、終了画面が表示されます。

⑩ リカバリーメディアの種類により次の操作を行う

■ DVD／ブルーレイディスクの場合

1. [終了] ボタンをタップする

自動的にリカバリーメディアを取り出せる状態になります。

2. リカバリーメディアを取り出す

■ USBフラッシュメモリの場合

1. USBフラッシュメモリを取りはずす

2. [終了] ボタンをタップする

再び画面が切り替わります。

セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。

この間は絶対に電源を切らないでください。また、キーボードドックを接続している場合、ディスプレイを閉じないでください。

⑪ セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照 Windows セットアップ

『活用編 9章 5 初期状態に戻した（リカバリー）あとのWindowsセットアップ』

6 本製品を初期状態に戻したあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェックソフトの設定や更新を行ってください。

インターネットの設定は、プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で控えておいた設定情報を元に、行ってください。

その他必要に応じて、メールの再設定、購入後に追加したアプリケーションのインストール、データの復元などを行ってください。

参照 詳細について「本節 1 本製品を初期状態に戻す（リカバリー）流れ」

メモ

- Office 搭載モデルの場合は、リカバリーしたあとに「Office」のライセンス認証が必要です。

参照 「Office」のライセンス認証について『活用編 はじめに 7 』

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

参照 「本章 8 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

1 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

■【ドキュメント】、【お気に入り】のデータや、その他のファイルやフォルダーなどバックアップをとったデータを復元してください。

参照 メール送受信データ、メールアドレス帳の復元について『メールソフトに付属の説明書』


本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバーを指定して再インストールすることができます。

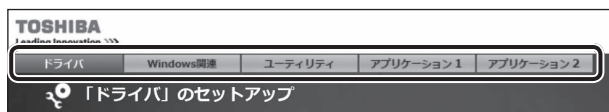
同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。

アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

1 操作手順

アプリケーションによっては、あらかじめインターネットに接続しておく必要があります。

- ① [スタート] ボタン () をタップする
- ② [アプリケーションの再インストール] をタップする
- ③ [セットアップ画面へ] をタップする
アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。
- ④ タブをタップして、再インストールしたいアプリケーションを探す



(表示例)

画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。アプリケーションをタップすると、画面右側に説明が表示されますので、よくお読みください。

- ⑤ 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の [[XXX] のセットアップ] をタップする
「XXX」にはアプリケーション名が入ります。
選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下、下線が引かれている言葉をタップしてください。
- ⑥ 表示されるメッセージに従ってインストールを行う
次のメッセージが表示された場合は、[開く] または [実行] ボタンをタップしてください。
 - 「XXXXXX (ファイル名) をXXXXXX (マシン名) から開きますか？」
 - 「XXXXXX (ファイル名) のダウンロードが終了しました。」

メモ

- [アプリケーションの再インストール] にないアプリケーションは、Windowsストアからダウンロードできる場合があります。

本製品を捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、SSDの内容を消去してください。

指紋センサー搭載モデルの場合は、登録した指紋データを消去することをおすすめします。指紋の消去は、「指紋認証ユーティリティ」の「指紋の管理」で行ってください。

1 お客様登録の削除について

● ホームページから削除する

東芝ID (TID) をお持ちの場合はこちらからお願いします。

① インターネットで「<http://toshibadirect.jp/room1048/>」へ接続する

② ページ右の「ログイン」をタップする

「ログイン」画面が表示されます。

③ 東芝ID (TID) またはメールアドレスと、パスワードを入力し、「ログインする」ボタンをタップする

マイページが表示されます。

※ システムの仕様上、ご登録メールアドレスにてログインできない場合があります。

その場合は、お手数ですが、東芝ID (TID) でログインしてください。

④ ページ右下の「退会」をタップする

⑤ 東芝ID (TID) またはメールアドレスとパスワードを入力し、「退会する」をタップする

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※ Room1048を退会されると、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● 電話で削除する

「東芝ID事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

● 東芝ID事務局（お客様情報変更）

TEL : 0570-09-1048 (ナビダイヤル)

受付時間 : 10:00～17:00 (土・日、祝日、当社特別休日を除く)

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。技術的なご相談や修理に関するお問い合わせ、またリサイクルに関しては「本章

11 サービス＆サポートのご案内」を確認してください。

2 SSDの内容をすべて消去する

本製品上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、本製品を廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、SSDに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

* 本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。必ず本項目のページを印刷してから実行してください。


SSDの内容を削除するには、SSDの消去機能、または作成したリカバリーメディア、または付属のリカバリーDVD-ROM(付属しているモデルのみ)を使用します。

お願い 本製品を譲渡する場合には

- SSDの内容を削除すると、SSD内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。再びシステム(OS)やアプリケーションを使用したい場合は、あらかじめリカバリーメディアを作成しておいてください。

参照 リカバリーメディアの作成『活用編 1章 4 リカバリーメディアを作る』

SSDの消去機能から行う方法

- ① データを保存し、次の方法で電源を切る
 1. [スタート] ボタン () をタップする
 2. [設定] をタップする
 3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
 4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップする
 5. [オプションの選択] 画面で [PCの電源を切る] をタップする
- ② 電源コードとACアダプターを接続する
- ③ 音量大(+) ボタンを押し続けながら、電源スイッチを押し続ける ([Boot Menu] 画面が表示されるまで)

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **Enter** キーをタップすると、[Boot Menu] 画面が表示されます。
- ④ [HDD Recovery] をタップして選択後、再度タップする

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順⑤に進んでください。

[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順⑥に進んでください。

- ⑤「Yes」(「YES」) または「はい」をタップする
[オプションの選択] 画面が表示されます。
- ⑥「トラブルシューティング」をタップする
[トラブルシューティング] 画面が表示されます。
- ⑦「TOSHIBA Maintenance Utility」をタップする
ツールの選択画面が表示された場合は、手順⑧に進んでください。
消去方法を選択する画面が表示された場合は、手順⑨に進んでください。
[データの消去を開始します。] 画面が表示された場合は、手順⑩に進んでください。
- ⑧「ハードディスク上の全データの消去」をチェックし、[次へ] ボタンをタップする
消去方法を選択する画面が表示された場合は、手順⑨に進んでください。
[データの消去を開始します。] 画面が表示された場合は、手順⑩に進んでください。
- ⑨「標準データの消去」をチェックし、[次へ] ボタンをタップする
モデルによっては「機密データの消去」項目も表示されますが、通常は「標準データの消去」を選択してください。[機密データの消去] は、より確実にデータを消去できますが、より時間がかかります。
[データの消去を開始します。] 画面が表示されます。
処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをタップしてください。
- ⑩「次へ」ボタンをタップする
消去が実行されます。画面は、処理の経過に従い切り替わります。
消去が完了すると、終了画面が表示されます。
- ⑪「終了」ボタンをタップする

■ リカバリーメディアから行う方法

リカバリーDVD-ROMが付属していない場合、リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『活用編 1章 4 リカバリーメディアを作る』

あらかじめ、次の準備を行ってください。

- USBケーブル（市販品）を使用して、USBフラッシュメモリのリカバリーメディアで消去を行う場合は、市販のUSBケーブル（USB Type-C™ コネクタ対応タイプのもの）を、本製品のUSB Type-C™ コネクタに接続してください。

参照 ▶ 接続方法『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

* ただし、すべてのUSBケーブルでの動作を保証するものではありません。

- キーボードドックをお持ちの場合、あらかじめキーボードドックを接続し、USBフラッシュメモリをキーボードドックのUSBコネクタに接続することにより、同様の接続となります。
- 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用して、DVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアで消去を行う場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

参照 ▶ 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

* ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。


① 電源コードとACアダプターを接続する

② リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。

参照 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブの使用方法
『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

③ データを保存し、次の方法で電源を切る

1. [スタート] ボタン () をタップする
2. [設定] をタップする
3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップする
5. [オプションの選択] 画面で [PCの電源を切る] をタップする

④ 音量大 (+) ボタンを押し続けながら、電源スイッチを押し続ける ([Boot Menu] 画面が表示されるまで)

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **Enter** キーをタップすると、[Boot Menu] 画面が表示されます。

⑤ 起動したいドライブをタップして選択後、再度タップする

リカバリーメディアがDVD／ブルーレイディスクの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目 ([USB ODD] など)、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目 ([USB Memory] など) を選択してください。

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

⑥ [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをタップする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑦ 画面の内容を確認し、[はい] ボタンをタップする

以降は、本節の「**SSDの消去機能から行う方法**」の手順⑧以降を参照してください。

本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は次のとおりです。

* 2017年4月現在の内容です。

各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

本書に記載している以外のアプリケーションのお問い合わせ先については、『活用編 付録 1 お問い合わせ先』を参照してください。

用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

■ Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス

■ Office Personal Premium プラス Office 365 サービス

上記 Office 製品を初めてご利用する際、インターネット接続環境および Microsoft アカウントでのサインインが必要になります。

Office 製品についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

事情により、電話番号や受付時間などが変更になる場合があります。事前に下記サポート Web サイトもご覧ください。

マイクロソフト Answer Desk 窓口

フリーダイヤル : 0120-54-2244

受付時間 : 月曜～金曜 9:00～18:00、土曜～日曜 10:00～18:00
(祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除く)

サポート有効期間 : サポートライフサイクル期間内

※ サポートライフサイクルについては、

<http://support.microsoft.com/lifecycle/search/> をご確認ください。

<サポート Web サイト>

Office 製品に関する情報やお問い合わせ情報などにつきましては、下記 Web サイトもご確認ください。

下記アドレスをワン ボックス (アドレスバー) に直接入力いただければ、Web サイトにアクセスできます。

● Office 製品情報 :

製品の機能や使い方などの製品情報

office.microsoft.com

● Microsoft アカウントについて :

Microsoft アカウントの登録方法や便利な使い方などについては下記のサイトをご覧ください。

microsoft.com/ja-jp/msaccount

● Office 365 サービス :

Office 365 サービスの詳細や更新の方法は下記のサイトをご覧ください。

office.com/service

●マイ アカウント ページ：

Office 365 サービスの管理や再インストールは、初回のインストール時に作成したマイ アカウント ページから行うことができます。マイ アカウント ページにアクセスするには、インストールの際に使用した Microsoft アカウントが必要になります。

office.com/myaccount

●サポート情報：

製品に関するお問い合わせやサポート情報については、下記のサイトをご確認ください。

office.com/jppipcsupport

.....

■ Excel 2016 / OneNote 2016 / Outlook 2016 / PowerPoint 2016 / Word 2016

マイクロソフト Answer Desk 窓口

Office 製品についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

事情により、電話番号や受付時間などが変更になる場合があります。事前に下記サポート Web サイトもご覧ください。

●基本操作に関するお問い合わせ

フリーダイヤル : 0120-54-2244

受付時間 : 月曜～金曜 9:00～18:00、土曜～日曜 10:00～18:00
(祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除く)

●サポート有効期間：サポートライフサイクル期間内

※ サポートライフサイクルについては、

<http://support.microsoft.com/lifecycle/search/> をご確認ください。

お問い合わせに関する詳細は、本体に同梱されている冊子『Office お使いになる前に』をご覧ください。

.....

■ ウイルスバスター クラウド™ 90日版

ウイルスバスター™ サービスセンター

受付時間 : 9:30～17:30

TEL : 0570-008326
03-6738-6062 (IP 電話・光電話からのお問い合わせ)

E-mail : <http://tmqa.jp/r924/>

ホームページ : <http://tmqa.jp/toshiba/>

.....

■ 筆ぐるめ for TOSHIBA

筆ぐるめ インフォメーションセンター

受付時間 : 9:30~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝祭日・休業日を除く)
11月1日から12月30日までは無休
(受付時間9:30~17:00 12/30のみ12:00まで)

TEL : 0570-550-211 (ナビダイヤル)
03-5638-6139 (PHS、IP電話ご使用の場合)

E-mail : users@fsi.co.jp

ホームページ : <http://fudegurume.jp/>

11

サービス&サポートのご案内

東芝PCサポートページ <http://dynabook.com/assistpc/pg>

* 2017年4月現在の内容です。最新情報はホームページをご覧ください。

当社のサポート窓口は、問い合わせたい内容や手段によって分かれています。次の表で相談内容や手段を選び、各問い合わせ先を示すマークを確認してから、以降のページで各問い合わせ先の説明をお読みください。

困ったときのご相談	手段					
	電話	メール	Web	訪問	対面	携帯用Web
使いかたや操作方法がわからない	使いかた相談	PCオンライン	FAQ	訪問サポート		
夜間（18:00～24:00）に電話サポートを利用したい			サポート予約			
時間にとらわれず好きな時間に相談したい（24時間）		PCオンライン	FAQ			
遠隔支援サービスを利用した電話サポートを受けたい	遠隔支援サービス		サポート予約			
故障かどうか調べたい	修理		FAQ		PC工房	
インターネットで修理の申し込みをしたい			PC i-repair			PC i-repair
インターネットで修理状況を確認したい						
海外から修理を依頼したい						
使いかたやトラブルの解決方法を自分で調べたい			FAQ			
自宅に来てトラブルを解決してほしい				訪問サポート		
本製品の調子が悪いので、本製品を預けて点検してほしい	点検		点検			
ウイルスに感染していないか確認・点検してほしい				訪問サポート		
本製品の中からデータを救出してほしい	データ復旧				PC工房	
対面窓口で修理の相談をしたい（本製品持ち込み）						
短期間で修理してほしい						
本製品の設定を代わりにしてほしい	有料サポート		有料サポート	訪問サポート		
マンツーマンでレッスンを受けたい						

2章

インターネット／困ったときは

困ったときのご相談	手段					
	電話	メール	Web	訪問	対面	携帯用Web
付属品の購入・サービスお申し込みのご相談						
お客様登録をしたい						
取扱説明書を購入したい						
電源コードを購入したい						
ACアダプターを購入したい						
メモリを購入したい* ¹						
バッテリーパック搭載モデルの場合、 バッテリーパックを購入したい* ²						
バッテリーパック内蔵モデルの場合、 バッテリーパックの交換を依頼したい* ²						
保証期間を延長したい						
使用済み本製品の回収・リサイクルのご相談						
不要になった本製品を廃棄したい（個人）						
不要になった本製品を廃棄したい（企業）						

* 1 モデルによっては、メモリの交換・増設そのものができなかつたり、メモリの交換・増設を依頼する必要がある場合があります。

【参照】「1章 2 - 3 タブレット背面図」の「お願い」

* 2 充電機能が低下した場合の対処方法は、モデルによって異なります。

ご使用のモデルについては、『****（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

* 3 個人向けと企業向けでは、バッテリーパック交換の申し込み先が異なります。

■ お電話でのスムーズな問い合わせのコツ

1. ご使用のPCの型番をご確認ください。型番は、製品に付属の保証書、画面に表示される「東芝PCシステム情報」、または本体底面／背面などの表示でご確認いただけます。

「東芝PCシステム情報」は、次の方法で起動できます。

【タブレットモードがOFFの場合】

① [スタート] ボタン () をタップ→② [TOSHIBA] → [PCシステム情報] をタップする。

【タブレットモードがONの場合】

① スタートメニューの左上の [すべてのアプリ] () →② [TOSHIBA] → [PCシステム情報] をタップする。

2. どのような症状が起きましたか？ エラーメッセージなどは表示されましたか？

3. その症状はどのような操作をしたあと、発生するようになりましたか？

4. 修理相談の場合は保証期間（保証書記載）をご確認ください。

5. 事前にお客様登録 (<http://dynabook.com/assistpc/pg/room1048>) をおすすめします。

■各問い合わせ先について *電話・FAX番号のお間違いにご注意ください。

使いかた
相談

東芝PCあんしんサポート 使いかた相談窓口

使いかた、技術的な相談などの電話によるお問い合わせ窓口です。

1. お問い合わせの前に、お買い上げの製品を東芝ID (TID) にご登録ください。
使いかた相談窓口のご利用には、東芝ID (TID) へのご登録 (お客様登録) が必要です。

参照▶ 東芝ID (TID) への登録方法『活用編 付録 3 お客様登録の手続き』

2. ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。
ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。
 - ・ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
 - ・ご購入日から5年経過後のサポート料金：1件あたり 2,000円 (税抜き、予定価格)
1件はお電話での回数ではなく、1つのご質問内容を1件といたします。1回のお電話の中に複数ご質問が含まれる場合、ご質問内容ごとに料金がかかります。
お電話をいただいた際には、まずご質問の概要を確認後、必ず料金を事前に提示させていただきお客様のご同意をいただいた上でサービスを提供させていただきます。
なお、詳細は、有料サポート開始前に、ホームページ上でご案内いたします。
3. お電話いただく際には、「発信者番号通知」をお願いいたします。

[固定電話から] 0120-97-1048 (フリーダイヤル：通話料無料)

[携帯電話から] 0570-66-6773 (ナビダイヤル：通話料お客様負担)

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780 (通話料お客様負担)

受付時間：9:00-19:00 (年中無休)

サポート
予約

東芝PC電話サポート予約サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/cb.htm>

お客様がホームページからご予約された時間帯 (18:00~24:00) に、東芝PCあんしんサポート担当者からお電話を差し上げて質問にお答えするサービスです。

1. サービスのご利用前 (予約前) に、お買い上げの製品を東芝ID (TID) にご登録ください。
東芝PC電話サポート予約サービスのご利用には、東芝ID (TID) へのご登録 (お客様登録) が必要です。

参照▶ 東芝ID (TID) への登録方法『活用編 付録 3 お客様登録の手続き』

2. ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。
ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。
 - ・ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
 - ・ご購入日から5年経過後のサポート料金：1件あたり 2,000円 (税抜き、予定価格)
 なお、本サービスは時間枠の都合上、ご予約1件につきご質問内容は1件とさせていただきます。
詳細は、有料サポート開始前に、ホームページ上でご案内いたします。



遠隔支援サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rm.htm>

東芝PC電話サポートのスタッフがインターネット経由で、あなたのPC画面を確認しながら操作のお手伝いやトラブルを解決するサービスです。

2章

インターネット／困ったときは



東芝PC集中修理センタ (東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口)

故障診断や修理受付の電話相談窓口です。

[固定電話から] 0120-97-1048 (フリーダイヤル：通話料無料)

[携帯電話から] 0570-66-6773 (ナビダイヤル：通話料お客様負担)

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780 (通話料お客様負担)

受付時間：9:00-19:00 (休業日：12/31～1/3)



東芝PC集中修理センタ

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rc.htm>

個人・家庭向け国内仕様本製品の修理相談サービスです。

自己診断Q&A 本間に故障かわからないとき

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rsc.htm>

インターネットからの修理のお申し込み

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rir.htm>

修理状況の確認 (携帯からアクセス可能)

<http://pcrepair.jp>



修理申込後も携帯サイトや電話申込でサービスのご利用が可能です。左記のQRコードで携帯サイトにアクセスできます。

* 携帯サイトからの修理のお申し込みは取り扱っておりません。

■ 企業のお客様の本製品 (国内仕様) 修理依頼は

当社修理・サポートダイヤル

<http://dynabook.com/pc/business/service/support/repair/>

電話番号：0120-335-660 (フリーダイヤル)

※フリーダイヤルがご利用できない場合は 03-5144-3816 (有料)

受付時間：9:00～17:30 (土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く)

FAX：0120-666-782 (フリーダイヤル)

**ILWサポートセンタ（海外保証・制限付）**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

ILW（International Limited Warranty）は、日本国内で購入された対象PCが、保証期間中に海外で故障した場合に、修理サービスを提供するものです。本サービスは、保証書にILWマークがついた製品が対象です。保証期間を過ぎたパソコンについては、有料修理サービスがございます。

ホームページからの修理申し込み：<http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

電話番号：海外から 81-43-303-1062／国内から 043-303-1062（通話料お客様負担）

FAX：海外から 81-43-303-1068／国内から 043-303-1068（通話料お客様負担）

受付時間（日本時間）：10:00～19:00（土・日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

※サービスの形態・制限事項・注意事項やILW対象地域の詳細などはホームページでご確認ください。

ILW対象地域

（中国は、現地修理サービス。その他地域は、日本への引き取り修理サービス）

カナダ、アメリカ、アイスランド、アイルランド、イギリス、イタリア、オーストラリア、オランダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、アラブ首長国連邦、韓国、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、中国、台湾、香港 ※準州などを除く

PC工房

東芝PC工房

お持ち込みでの直接診断や修理のご依頼、保証期間の延長のお申し込みはこちらへ。

また、ご予約いただき1日で修理を行うサービス「1Day・プレミアム・リペア・サービス」もこちらへ。

※修理は国内モデルのみ受け付けます。

※故障内容によっては、対応できない場合があります。

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pk.htm>

電話番号：03-3252-6274（通話料お客様負担）

電話受付：10:00～12:00 13:00～18:30（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-7-7 ソフト99ビル2F

営業時間：10:00～18:30

購入
窓口**電源コードやACアダプターなどの付属品の購入、取扱説明書の購入窓口**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/ac.htm>

取扱
説明書**東芝PC本体に同梱している説明書（マニュアル）の一部を別売りしております。**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/mn.htm>

FAQ

「dynabook.com」で公開しているよくあるご質問と回答

<http://dynabook.com/assistpc/pg/faq.htm>

PC
オンライン**Web（インターネット）を使ってご相談**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/web.htm>

サービスのご利用前に、お買い上げの製品を東芝ID（TID）にご登録ください。

参照 ▶ 東芝ID（TID）への登録方法『活用編 付録 3 お客様登録の手続き』



PCリサイクルのご相談（個人）

●PCリサイクルマークがある場合

「PCリサイクルマーク」のある製品は、当社での回収・再資源化のためのリサイクル料金が含まれています。

個人・家庭からの使用済み東芝パソコンを廃棄するときは、東芝dynabookリサイクルセンタへお申し込みください。なお、お申し込み時には排出されるパソコンの型番、製造番号をご確認いただき、申し込みをお願いいたします。



リサイクル

<PCリサイクルマーク>

回収申し込み・お問い合わせ先：東芝dynabookリサイクルセンタ

<http://dynabook.com/assistpc/pg/reh.htm>

電話番号：043-303-0200

受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：043-303-0202

出荷時に添付されていた標準添付品（マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど）が同時に排出された場合は、パソコンの付属品として併せて回収します。ただし、周辺機器（プリンターほか）、マニュアル、CD-ROM媒体は対象外です。

回収・再資源化対象機器

対象（東芝パソコン）：ノートパソコン本体／デスクトップパソコン本体／ブラウン管（CRT）ディスプレイ／液晶ディスプレイ／ディスプレイ一体型パソコン

●PCリサイクルマークがない場合

2003年9月末日までに当社から出荷された「PCリサイクルマーク」のない「個人・家庭向けパソコン」については、回収・再資源化に関する費用を、排出の際にお客様に料金をご負担していただきます。

料金につきましては、dynabookリサイクルセンタまでお問合せください。



PCリサイクルのご相談（企業） 東芝IT機器リサイクルセンター

電話番号：045-506-3211

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：045-506-3213（24時間受付）

●事業系（企業・法人）の使用済みパソコン 回収・リサイクルのホームページ

<http://dynabook.com/assistpc/pg/reb.htm>



東芝PCあんしん点検（有料）の申し込み

<http://dynabook.com/assistpc/pg/at.htm>

PC全体の機能点検に加え、日常お手入れできないPC内部の清掃やウイルスに感染していないか点検を行います。



有料のPC遠隔レッスンサービス／PC遠隔代行サービス／東芝PC延長保証サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pay.htm>

- ・PC遠隔レッスンサービス
個別指導で気軽にレッスン！年賀状、招待状作成のお手伝いをさせていただきます。
- ・PC遠隔代行サービス
周辺機器を買ったけど接続設定が面倒！信頼の技術力で、おうちにいながら遠隔設定いたします。
- ・東芝PC延長保証サービス

データ
復旧**データ復旧サービス（有料）のご案内**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rdata.htm>

突然起きるハードディスク故障や、操作ミスによるデータ消失などのトラブルから大切なデータを復旧いたします。※お客様に著作権のないデータはサービス対象外となります。

データ復旧サービス

論理障害・軽度の物理障害の際、読み取り可能なフォルダーをDVD-RやUSBメモリなどにバックアップいたします。

※データ量が4.7GB以下の場合はDVD-Rに、4.7GB以上32GB以下の場合はUSBメモリに、32GB以上の場合はUSB接続型の外付けハードディスクドライブに格納いたします。

【個人のお客様】

電話番号：03-3252-7081（通話料お客様負担）

受付時間：10:00～12:00、13:00～18:30（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

【企業のお客様】

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は03-5144-3816（有料）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

訪問
サポート**東芝PC訪問サポート（有料）*個人のお客様向け**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pcs.htm>

訪問スタッフがお客様先までおうかがいして、パソコンの接続設定やアプリケーションの設定を行います。

日本PCサービス株式会社

電話番号：0120-1048-49／受付時間：9:00～21:00（年中無休）

キューアンドエー株式会社

電話番号：0120-577876／受付時間：10:00～19:00（年中無休）

バッテリー
パック交換**バッテリーパックの交換（バッテリーパック内蔵モデルのみ）**

充電機能が低下した場合は、バッテリーパックの交換を依頼してください。

バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

●バッテリーパック交換（個人）

東芝PCあんしんサポート 修理相談窓口にご連絡ください。

●バッテリーパック交換（企業）

営業担当にご連絡ください。

ILW制限事項・注意事項 (2017年4月現在)

最新版はホームページに記載しております。

<http://dynabook.com/assistpc/ilw/ilw3.htm>

■制限事項

1. 対象地域により、サービス形態（日本への引き取り修理サービスまたは現地修理サービス）が異なります。
2. 本製品は日本国内モデルであり、世界各地で販売されている海外モデルとは仕様に相違があるため、海外現地の株式会社東芝の関連会社ではお取り扱いしておりません。
3. 対象地域はILW対象地域をご覧ください。記載地域以外は、ILW対象外です。対象地域は各地域の通関事情などにより、事前の告知なく変更となる場合があります。
4. 現地では日本語でのご対応はできません。その現地の言語での対応となります。
5. ILWは、本体の修理に限ります。オプション機器、周辺機器、消耗品（バッテリーパック等）、付属品（電源コード等）、リカバリメディア、サービス部品、操作説明書等の提供および販売は、ILW対象外です。
6. ソフトウェアおよび技術サポートのご相談は受け付けておりません。ご相談の場合は、東芝PCあんしんサポート（海外からおかけになる場合は、81-43-298-8780）「使い方・設定など技術的な相談窓口」へご連絡ください。通信費はお客様負担となります。
7. プレインストールソフトウェアのリカバリサービスは保証期間内でも有料扱いとなります。リカバリサービスをお申込みの場合、パソコンの往復輸送費とリカバリサービス代金はお客様負担となります。
8. 海外でご使用にれない機能（TVの視聴・録画に関する機能、広域無線通信 [ワイヤレスWAN] 機能など）は、ILW対象外となります。
9. お持ちの機種、修理部品、対応地域によっては、各地域の通関事情等により、修理完了までに時間がかかる場合があります。
また、ILW対象地域の一部地域では、法律により、輸出入が規制されている部品・役務等があります。規制に該当する場合は、ILW対象外となります。
10. 各地域の通関事情により、現地通関事務局から指定された書類を求められる場合があります。その場合は、お客様ご自身による対応が必要となります。
11. 中国での現地修理サービスでは、修理パソコンのピックアップサービスや出張サービスは行っておりません。お客様自身による現地修理会社へのお持ち込み、又は各輸送会社拠点へのお持ち込みとなります。
12. お客様の過失により機器が故障した場合、火災・自然災害（落雷/水害等）により故障した場合等は、ILW対象外です。日本国内で有効な「保証書」に記載の無料修理規定に則り、有料修理となります。
13. ILW対象外の修理については、地域によっては有料で、日本への引き取り修理サービスまたは現地修理サービスをご利用いただけます。詳細はILW対象地域をご覧ください。有料修理の場合、パソコンの往復輸送費等はおお客様のご負担となります。
なお、有料修理は、保守部品（補修用性能部品）の保有期間内のILW対象機種とさせていただきます。
14. ILW対象地域域外の場合、日本国内での修理となります。その場合は、お客様ご自身で輸入手続きの上、日本国内のご家族または知人を介して、東芝PCあんしんサポート（0120-97-1048 ※海外からおかけになる場合は、81-43-298-8780）「修理に関するご相談窓口」へ修理依頼をお願いします。修理完了後の返却は、日本国内のみとさせていただきます。通信費はお客様負担となります。
15. 記憶装置に記憶された内容は、故障や障害およびその他の原因にかかわらず、その損失損害については、いっさいその責任を負いません。修理をご依頼される際は、お客様ご自身で事前にデータのバックアップを行ってください。パソコンをお預かりした時点で、データは全てバックアップされたものと判断させていただきます。記憶装置が故障した場合等、インストールされているソフトウェアやおお客様のデータは、消去されます。また、近年、盗難が多発しておりますので、パソコンを輸送する際は、発送する前にハードウェアパスワード等により、セキュリティの強化をしてください。輸送の際の盗難等にもなうパソコン内のデータ等に関する責任は、当社ではいっさい、負うことはできませんので、ご注意ください。

■注意事項

1. ILWは当社製品の海外への輸出や持ち出しを保証するものではありません。海外へ輸出や持ち出しをする場合、「外国為替及び外国貿易法」や米国輸出規制を遵守する必要がありますので、ご注意願います。輸出国（お持ち込みになる国）によっては、米国輸出規制に従った輸出許可が必要です。このような場合は、お客様の責任に基づき、お客様自身で所定の手続きをしてください。手続きについては、税関等へお問い合わせください。
2. 当社製品は、世界各国の規格を取得していないことから、お持ち込みのできない場合があります。製品の持ち出しおよびお持ち込みは、お客様の責任で行ってください。
3. 地域によっては、パソコン使用時、周辺の環境（他電子機器から出される電波、お使いのコンセント電圧、インフラ設備等）の影響を受ける場合があります。
4. 電源コードは国内専用です。海外でパソコンを使用するときは、使用する国や地域の安全規格等に適合したケーブルを当該国でお買い求めになるなどして、お使いください。

本書で説明している機能のご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。搭載されている機能やアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

1 本体について

スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- 本製品の表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

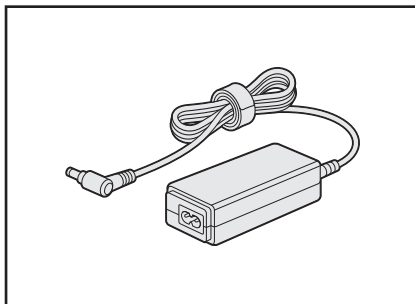
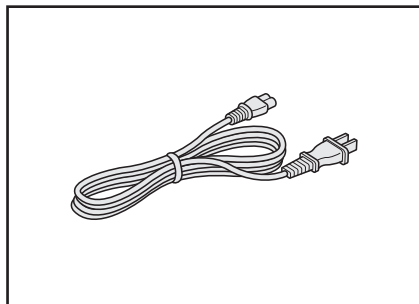
2 本体ディスプレイについて

□ 本体ディスプレイの取り扱いについて

- 画面を強く押さないでください。
- 画面は指で操作してください。
- 先のとがったものや硬いもの（つめ、鉛筆、ボールペンなど）で画面をタッチしたり押さえつけたりしないでください。
- 画面に保護フィルムを貼った場合、タッチ操作が正しく認識されないことがあります。
- 画面上に物を置かないでください。

3 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。



電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより異なります。モデルによっては、電源コードやACアダプターのプラグが異なったり、電源コードにアース線が付属している場合もあります。

4 ウィルスチェック・セキュリティ対策について

- 本製品に用意されている「ウイルスバスター クラウド™」は90日間の使用期限があります。必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ウィルスチェック／セキュリティ対策ソフトをご使用になる場合には、必ずウイルス定義ファイルの最新版を使用してください。
ウイルス感染を防止するには、常に最新のウイルス定義ファイルが必要です。
- すでにインストールしてあるウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトとは別のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールする場合は、すでにインストールしているものをすべてアンインストールしてから行ってください。

参照 ウイルスバスター クラウド™のセキュリティ機能について
「ウイルスバスター クラウド™」のヘルプ

5 「i-フィルター® 6.0」について

- 無料使用期間はご使用開始より30日間です。無料使用期間が過ぎますと、設定がすべて解除されフィルタリング機能がご使用できなくなります。無料使用期間中に有料にて正規サービスをお申し込みいただくことで、継続して使用することができます。

6 周辺機器について

本製品への機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
 - ・ ホットインサクションに対応していない機器を接続する場合は、必ず本製品の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサクションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
 - ・ 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
 - ・ ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
 - ・ 極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
 - ・ 静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
 - ・ 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
 - ・ 本製品のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
 - ・ 本製品のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

7 バッテリーを使用するにあたって

バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの充電量に十分注意してください。

バッテリーを使いきってしまうと、スリープが効かなくなり、電源が切れて、作業中の内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、電源コードをコンセントに接続して、バッテリーを充電してください。

なお、バッテリー駆動での使用時間は、本製品の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。

8 無線LANについて

無線LANを使用するにあたって

- 無線LANの無線アンテナは、障害物が少なく見通しのきく場所で最も良好に動作します。無線通信の範囲を最大限有効にするには、本や厚い紙の束などの障害物で本製品を覆わないようにしてください。また、無線LANアクセスポイントと本製品との間を金属板などで遮へいしたり、無線アンテナの周囲を金属製のケースなどで覆わないようにしてください。
- Bluetooth[®]と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth[®]、無線LANのいずれかの使用を中止してください。
- 無線LANは無線製品です。各国／地域で適用される無線規制については、次の説明を確認してください。

参照 『活用編 付録 11 無線LAN／Bluetooth[®]について』

- 本製品の無線LANを使用できる国／地域については、「dynabook.com」を確認してください。

9 クリーナークロスについて

- クリーナークロスには、次の用途があります。
 - ・ ディスプレイ画面や指紋センサーが汚れたときの、画面やセンサーのふき取り（ディスプレイ画面や指紋センサー以外のものをふかないでください。）
 - ・ ディスプレイを閉じた際に、画面に傷や汚れがつくのを防ぐ
 - ・ 本製品を持ち運ぶ際、軽い衝撃などからのディスプレイ保護
- ディスプレイ画面が汚れたときは、クリーナークロスで汚れをふき取ります。ディスプレイには無理な力を加えず、軽くふき取ってください。クリーナークロスはきれいな状態でご使用ください。汚れた状態・ぬれた状態では使用しないでください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤などは使用しないでください。
- ノート型PCの場合、ディスプレイを閉じたり、持ち運びの際には、次のように使用してください。（キーボード部分が取りはずせるモデルの場合に、キーボードを取り付けて持ち運ぶ際には、ノートPCスタイルにしてから次のように使用してください。）
 - ① 本製品の電源を切る
 - ② クリーナークロスをキーボード上に敷く
クリーナークロスに折れないように敷いてください。
 - ③ ディスプレイを静かに閉じる

10 技術基準適合について

- 瞬時電圧低下について

この装置は、一般社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

以下の項目のうち、ご購入のモデルの対象となる項目は、『活用編 付録 9 技術基準適合について』に記載されています。

- 電波障害自主規制について
- [FCC information] について
- EU Declaration of Conformity について

リカバリーチェックシート

本製品のリカバリーを行う際は、次の説明をお読みになり、消去されるデータやアプリケーションをご確認のうえ、順番に作業を行ってください。 **参照** 各項目の詳細 2章の **6** ~ **8**

1 リカバリーする前に、次の方法を実行してみる

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
<input checked="" type="checkbox"/>	周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす
<input checked="" type="checkbox"/>	「2章 4 困ったときは」『活用編 9章 1 トラブルを解消するまでの流れ』をご覧ください。ほかのトラブル解消方法を探す
<input checked="" type="checkbox"/>	「システムの復元」を実行して、本製品を以前の状態に復元する

2 リカバリーする前にすること

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	① 準備するもの
<input checked="" type="checkbox"/>	リカバリーの手順と「リカバリーチェックシート」（本シート）を印刷したもの
<input checked="" type="checkbox"/>	リカバリーメディア（*メディアからリカバリーする場合のみ） リカバリーDVD-ROM（*付属しているモデルのみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	② 必要なデータのバックアップをとる <ul style="list-style-type: none">● [ドキュメント]、[ピクチャー]、デスクトップ上などのデータ● インターネットの [お気に入り] のデータ● メール送受信データ、メールアドレス● その他、本製品を購入後に作成したデータ（フォルダーやファイル）
<input checked="" type="checkbox"/>	③ アプリケーションのセットアップ用のメディアを用意する <ul style="list-style-type: none">● 本製品を購入後にインストールしたアプリケーションのメディア● Officeのパッケージ（プロダクトキーの情報）（* Office搭載モデルのみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	④ 各種設定を
<input checked="" type="checkbox"/>	確認する
<input checked="" type="checkbox"/>	ウイルスチェックソフトの設定など
<input checked="" type="checkbox"/>	インターネット、Windows サインイン時のアカウント名などの設定
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 無線通信機能がONであるかを確認する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ 周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす

3 リカバリーの実行と、その後にすること

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	① リカバリーを行う（*リカバリー後は初期セットアップが必要）
<input checked="" type="checkbox"/>	② 周辺機器（プリンターなど）を取り付けて、設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	③ ウイルスチェックソフトの利用を開始する
<input checked="" type="checkbox"/>	④ インターネットを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ ウイルスチェックソフトのパターンファイルを更新する、Windows Updateを行う、東芝サービスステーションでソフトウェアのアップデートを行う
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ メールを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑦ アプリケーションのインストールや設定を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	⑧ バックアップをとったデータを復元する